

平成 30 年度  
定期 監 査 報 告 書

阿 蘇 市 監 査 委 員

# 目 次

## 一般会計・特別会計

1 監査の対象	1
2 監査の日程	1
3 監査の要領	1
4 監査の結果	1
<<総務部>>	
総務課	4
財政課	6
税務課	9
内牧支所	11
波野支所	13
<<市民部>>	
市民課	15
人権啓発課	19
福祉課	22
ほけん課	25
<<経済部>>	
農政課	32
観光課	35
まちづくり課	38
<<土木部>>	
建設課	40
住環境課	42
<<教育部>>	
教育課	46
会計課	53
農業委員会事務局	54
選挙管理委員会事務局	56
議会事務局	57
監査委員事務局	58
繰出金	59

## 1 監査の対象

平成 30 年度執行の一般会計・特別会計《総務部》総務課・財政課・税務課・内牧支所・波野支所、《市民部》市民課・人権啓発課・福祉課・ほけん課、《経済部》農政課・観光課・まちづくり課、《土木部》建設課・住環境課、《教育部》教育課、会計課・農業委員会事務局・選挙管理委員会事務局・議会事務局・監査委員事務局に関する事務の執行について監査を実施した。

## 2 監査の日程

月	日	曜	課 局 室 名	
			午 前	午 後
10	22	月	ほけん課	
	23	火	市民課	人権啓発課
11	1	木	総務課・選挙管理委員会事務局	
	2	金	農業委員会事務局・会計課・議会事務局・監査委員事務局	
	5	月	建設課	
	6	火		内牧小学校
	7	水	住環境課	
	8	木	内牧支所	
	13	火	波野支所	一の宮小学校
	14	水	財政課	
	15	木	まちづくり課	
	16	金	観光課	
	19	月	教育課	
12	18	火	福祉課	
	19	水	税務課	
	20	木	農政課	

## 3 監査の要領

本監査は、市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が公正・適正かつ合理的・効率的な行政運営が行われているかどうかを主眼として、平成 30 年度（平成 30 年 9 月末現在）における予算執行状況、事務事業の執行と管理、契約及び財産の維持管理事務等について、事前に提出を求めた監査調書・関係諸帳簿類の審査及び現地調査を行い、必要に応じて関係職員から説明を受けた。

## 4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事務の管理が、適法、適正かつ効率的に管理運営され、概ね適正に処理されているものと認めた。

前年度の担当者との交代などもあり、改善していない部分も見受けられる。担当者だけでなく部署全体で周知徹底する必要があると考える。決裁など細心の注意を払い確認をお願いし、漏れの無いようお願いする。

本年度も改善を要する事項、軽微なものについては講評の際に、その都度関係職員及び所属長等に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。

平成 31 年 4 月をもって熊本地震から約 3 年が経過する。早期復旧・復興を目指し誠意、取組んでいただいているところであるが、引き続き被災された市民方々の生活再建に取り組んでいただきたい。

第二次阿蘇市総合計画前期基本計画 3 年目、阿蘇市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度になる。地域の特性に更なる磨きをかけ、本市の魅力を最大限に発揮できるよう、計画で掲げた基本目標の達成に向け、あらゆる分野における活力ある人材を活かし人づくりなどにより、市民一人ひとりが住んでよかったと実感できるまちづくりをお願いしたい。

平成 30 年度は阿蘇市行政改革大綱の実施計画に基づき、業務フロー・コスト分析調査が実施されている。事業の優先順位等を見極め事務事業の見直しも必要である。

職員一人ひとりが、意欲を持って事務事業に取り組む、行政サービスの質の維持向上に努められたい。

平成 31 年度は、地方交付税の総額が減少することが見込まれる中、依然として厳しい財政状況である。これまでも行政体制の整備や健全化に努められているが、社会保障関連経費の増加は抑えられない状況である。将来にわたって持続可能な財政基盤を確立するため、市税等、自主財源の確保を図り、未収金の適正な債権管理等に努められたい。

今後も最小の経費で最大の効果を上げ、魅力あるまちづくりを進めるには、全職員が知恵を出し合い、行財政の効率化と市民の福祉の増進に努められ適正な事務の執行をされるよう要望する。

## 【共通指摘事項】

### (1) 文書管理について

#### 文書管理事務の手引き(情報公開と文書管理)抜粋

情報公開制度は市民の市政に対する理解と信頼を深め、市政への住民参加を適切かつ効果的にするためと、市政の諸活動を市民に説明する市の責務(説明責任)を全うし、複雑に対立する利害関係を調整しながら行政の公正な運営と透明性を確保するために必要な制度となっています。

地方自治体は、住民生活のあらゆる領域に関わっており、対応する課題が増加・複雑・多様化し、取り扱う情報も膨大な種類と量になっています。このような状況の中で、地方自治体はあらゆる種類の行政文書に対して開示請求がなされることを想定するとともに、請求があった際には、管理する膨大な量の文書の中から請求者の求めるものを速やかに特定し、開示・不開示の決定をしなければなりません。

したがって情報公開制度の下では、行政内部における事務の適正化、効率化に重点をおいただけの文書管理システムだけでなく、情報が公開されることを前提としたうえで、作成から保存まで市民が利用できるものであるべきという観点での文書管理方法が必要になります。

このことを踏まえ、今後も公文書の取扱いについては、阿蘇市文書規程により管理をされたい。

起案文書は回議決裁後、決裁日付印欄、発送済日付印欄に押印されていないものが見受けられたが、前年度より大幅に改善されている。

各課で收受された一般文書は受付日付印が必要である。受付番号等の記入が無いものが散見された。

本年度は、フリクションボール(消せる筆記具)の使用があった。温度変化により筆跡が消えるため、公文書での使用は基本的に禁止とする。

### (2) 補助金・交付金について

主要財源は市税及び地方交付税である。地方交付税の削減等厳しい財政状況の中、

市単独の補助金については、毎年度実績検分を基に用途を十分吟味のうえ適正な算定をされるよう望む。

補助事業等の目的・内容を再度検証され、より効果的で効率的な執行で適正化に努められたい。

(3)出張命令簿について

在勤地内(管内出張)命令簿及び公用車運行日誌については、管理者の押印漏れも少なく整理され、前年度より改善されていた。今後も適正な手続きをされた上で出張されたい。

研修等の出張復命書はそれぞれ命令、目的に沿って報告されていると感じた。今後も出張内容を確認し、業務向上につながる出張をしていただきたい。

(4)公用車運行日誌について

市有自動車運行日誌兼在勤地内旅行命令簿における課長、係長、公用車管理主管課長印の漏れ、曜日、天気、使用メーター(使用前、使用后)の未記入は少なくなり、改善されている。本年度は、給油記録の転記漏れ、納品書のホッチキス止めが散見された。始業点検については実施されているかが確認されなかった。(記入なし)

次年度においては、記入漏れ、記入ミス、始業点検を徹底されたい。

(5)契約書類について

契約日の記載漏れ、契約保証金額の記入漏れ、フリクションボールの使用が見受けられた。契約時の記入確認を再度努められたい。

(6)郵券(郵便切手等)について

郵券を保有している部署については、郵便切手受払簿を備えているか、現物の残数と受払簿と一致している等を確認した。

管理方法については、現金と同様の取扱い、施錠付きの適正な場所で管理し定期的な現物確認をされたい。

※ 全課にまたがるため回答不要

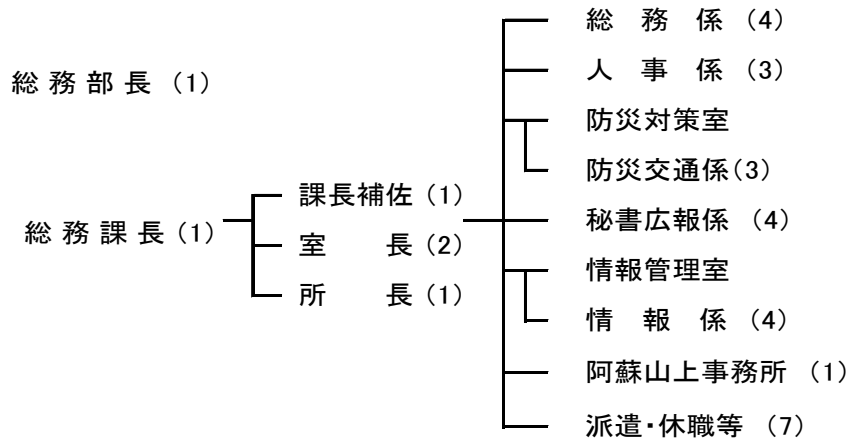
# 【 総 務 部 】

## 総 務 課

実施日：平成 30 年 11 月 1 日

### 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

\* ( ) 数字は職員の配置数



### 2 予算執行状況

平成 30 年度総務課歳入予算現額 123,737,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 13,374,872 円で収入率は予算現額に対し 10.8%、調定額に対し 95.0%である。

歳出においては、予算現額 1,538,693,785 円の処、執行額 1,078,602,281 円、予算残額 460,091,504 円、予算現額に対する執行率は 70.0%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
11 交通安全対策特別交付金	4,000,000	1,604,000	1,604,000	0	40.1	100.0
12 分担金及び負担金	7,070,000	6,710,369	6,710,369	0	94.9	100.0
13 使用料及び手数料	128,000	13,975	1,000	12,975	0.7	7.1
14 国庫支出金	30,000	61,000	61,000	0	203.3	100.0
15 県支出金	9,000,000	0	0	0	0.0	0.0
16 財産収入	30,000	22,046	22,046	0	73.4	100.0
17 寄附金	601,000	200,439	200,439	0	33.3	100.0
18 繰入金	36,058,000	0	0	0	0.0	0.0
19 繰越金	1,510,000	1,510,000	1,510,000	0	100.0	100.0
20 諸収入	26,910,000	3,947,907	3,266,018	681,889	12.1	82.7
21 市債	38,400,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	123,737,000	14,069,736	13,374,872	694,864	10.8	95.0

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		927,302,785	562,013,668	365,289,117	60.6
	1	総務管理費	927,302,785	562,013,668	365,289,117	60.6
		1 一般管理費	695,115,785	353,908,509	341,207,276	50.9
		2 広報公聴費	5,880,000	4,851,125	1,028,875	82.5
		7 交通安全対策費	14,585,000	5,437,391	9,147,609	37.2
		8 情報管理費	134,549,000	124,102,207	10,446,793	92.2
		11 光ネットワーク事業費	77,143,000	73,692,390	3,450,610	95.5
		14 地域情報化基盤整備基金費	30,000	22,046	7,954	73.4
8	消防費		611,391,000	516,588,613	94,802,387	84.4
	1	消防費	611,391,000	516,588,613	94,802,387	84.4
		1 非常備消防費	535,419,000	503,418,701	32,000,299	94.0
		2 消防施設費	22,818,000	1,689,878	21,128,122	7.4
		3 災害対策費	39,266,000	2,863,481	36,402,519	7.2
		4 防災行政無線管理費	13,888,000	8,616,553	5,271,447	62.0
	合	計	1,538,693,785	1,078,602,281	460,091,504	70.0

## 3 講評・所感

地方発の5G(次世代移動通信)の利活用、アイデアに興味をもった。現代の携帯電話は4Gの機能をもつが、AI頭脳の発達の中で2020年の5G商品化を目指すと云う。

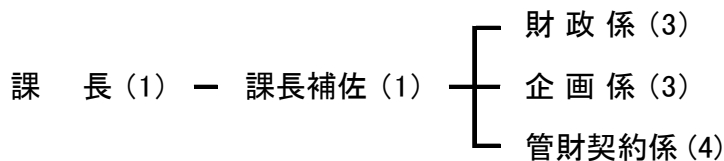
5Gの特徴は最高伝達速度10Gbps、遅延1ミリ秒、1K㎡当り100万台接続可能と云うがどのように発達したものか理解しがたい。折しもTVで拝見したロボットの犬が老人の見守りや、子供の所在等をこのスマートホンを利用して確認する映像をながめ、本当に文明は発達したものだと感心しきりである。唯しこの仕組みを悪用する輩がどうした事か、すぐ現れるので夢々油断無きよう用心して頂きたい。

# 財政課

実施日：平成 30 年 11 月 14 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在）

\*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度財政課（一般会計）歳入予算現額 8,522,257,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 5,493,500,606 円で収入率は予算現額に対し 64.4%、調定額に対し 99.7%である。

歳出においては、予算現額 2,425,313,247 円の処、執行額 1,147,713,656 円、予算残額 1,277,599,591 円、予算現額に対する執行率は 47.3%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位:円:%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
2 地方譲与税	188,700,000	49,295,000	49,295,000	0	26.1	100.0
3 利子割交付金	3,300,000	1,693,000	1,693,000	0	51.3	100.0
4 配当割交付金	4,700,000	3,325,000	3,325,000	0	70.7	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	6,000,000	0	0	0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	506,900,000	291,163,000	291,163,000	0	57.4	100.0
7 ゴルフ場利用税交付金	24,500,000	11,310,718	11,310,718	0	46.1	100.0
8 自動車取得税交付金	51,100,000	13,194,000	13,194,000	0	25.8	100.0
9 地方特例交付金	9,500,000	9,940,000	9,940,000	0	104.6	100.0
10 地方交付税	5,568,103,000	3,899,443,000	3,899,443,000	0	70.0	100.0
12 分担金及び負担金	270,000	0	0	0	0.0	0.0
13 使用料及び手数料	1,400,000	29,200	25,600	3,600	1.8	87.6
14 国庫支出金	13,955,000	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	346,103,000	3,062,751	3,062,751	0	0.8	100.0
16 財産収入	32,632,000	31,170,954	17,638,340	13,532,614	54.0	56.5
18 繰入金	92,894,000	4,036,072	2,018,036	2,018,036	2.1	50.0
19 繰越金	1,183,845,000	1,183,844,968	1,183,844,968	0	99.9	100.0
20 諸収入	65,855,000	7,552,593	7,547,193	5,400	11.4	99.9
21 市債	422,500,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	8,522,257,000	5,509,060,256	5,493,500,606	15,559,650	64.4	99.7



## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		136,420,000	48,567,605	87,852,395	35.6
	1	総務管理費	124,651,000	44,284,224	80,366,776	35.5
		3 財政管理費	615,000	422,037	192,963	68.6
		5 財産管理費	51,147,000	41,499,938	9,647,062	81.1
		6 企画費	71,719,000	1,735,280	69,983,720	2.4
		12 財政調整基金費	1,000,000	598,581	401,419	59.8
		13 減債基金費	100,000	17,886	82,114	17.8
		15 公共施設管理基金費	30,000	10,502	19,498	35.0
		17 熊本地震復興基金費	40,000	0	40,000	0.0
	5	統計調査費	11,769,000	4,283,381	7,485,619	36.3
		1 統計調査総務費	8,490,000	4,120,573	4,369,427	48.5
		2 指定統計調査費	3,279,000	162,808	3,116,192	4.9
4	衛生費		332,807,000	284,188,000	48,619,000	85.3
	1	保健衛生費	332,807,000	284,188,000	48,619,000	85.3
		1 保健衛生総務費	284,188,000	284,188,000	0	100.0
		12 水道費	48,619,000	0	48,619,000	0.0
5	農林水産業費		16,410,000	8,603,750	7,806,250	52.4
	2	林業費	16,410,000	8,603,750	7,806,250	52.4
		1 市有林管理費	16,410,000	8,603,750	7,806,250	52.4
11	公債費		1,667,956,000	806,354,301	861,601,699	48.3
	1	公債費	1,667,956,000	806,354,301	861,601,699	48.3
		1 元金	1,467,962,000	736,500,107	731,461,893	50.1
		2 利子	199,994,000	69,854,194	130,139,806	34.9
13	予備費		271,720,247	0	271,720,247	0.0
	1	予備費	271,720,247	0	271,720,247	0.0
		1 予備費	271,720,247	0	271,720,247	0.0
		合計	2,425,313,247	1,147,713,656	1,277,599,591	47.3

## 3 講評・所感

平成 30 年度、税収の増加があったが(過年度)、心から歓迎する意味合いとは違って、グループ補助金を利用する事業主に滞納者が多く、従って事前に滞納額を支払った為とのこと。

事程左様に今回の熊本地震は、住民の苦しさを側面から知る程に人生の裏側を垣間見た事である。たしかに素直に納税できる側と、苦しさ故に滞納してしまう側との関係は、物差しで量る程容易なものではない。

人権問題を初めとした諸々の人としての悩み、苦しみ、批判、差別、互助、理解等々、一刻も早く解脱の世界へと誘われないものである。

《特別会計》

(単位円：%)

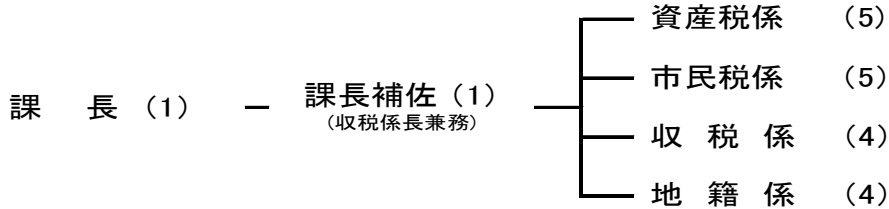
会計	歳入	調定額	収入済額	執行率	歳出	予算現額	支出負担 行為済額	執行率
坂梨財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	1,602,000	892,041	55.6
	2 使用料及び手数料	7,504,710	176,350	2.3	2 財産造成費	0	0	0.0
	3 分担金及び負担金	50,000	50,000	100.0	3 財産管理費	0	0	0.0
	4 繰入金	0	0	0.0	4 水道管理費	27,722,000	19,590,705	70.6
	5 繰越金	20,477,414	20,477,414	100.0	5 財政調整基金費	6,000	0	0.0
	6 諸収入	680,440	680,440	100.0	6 予備費	1,096,000	0	0.0
	計	28,712,564	21,384,204	74.4	計	30,426,000	20,482,746	67.3
古城財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	571,000	1,252	0.2
	2 使用料及び手数料	4,543,080	2,266,620	49.8	2 財産造成費	0	0	0.0
	4 繰入金	136,767	136,767	0.0	3 財産管理費	389,000	263,000	67.6
	5 繰越金	7,780,977	7,780,977	100.0	4 水道管理費	15,556,000	2,449,356	15.7
	6 諸収入	0	0	0.0	5 財政調整基金費	2,000	0	0.0
					6 予備費	1,065,000	0	0.0
	計	12,460,824	10,184,364	81.7	計	17,583,000	2,713,608	15.4
中通財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	887,000	5,002	0.5
	2 使用料及び手数料	10,151,100	3,812,880	37.5	2 財産造成費	0	0	0.0
	4 繰入金	0	0	0.0	3 財産管理費	1,106,000	832,000	75.2
	5 繰越金	19,988,799	19,988,799	100.0	4 水道管理費	15,436,000	1,104,719	7.1
	6 諸収入	0	0	0.0	5 財政調整基金費	10,004,000	0	0.0
					6 予備費	3,035,000	0	0.0
	計	30,139,899	23,801,679	78.9	計	30,468,000	1,941,721	6.3
宮地財産区	1 財産収入	0	0	0.0	1 委員会費	19,000	9,672	50.9
	4 繰入金	9,672	9,672	100.0	6 予備費	22,000	0	0.0
	5 繰越金	21,710	21,710	100.0				
	6 諸収入	0	0	0.0				
	計	31,382	31,382	100.0	計	41,000	9,672	23.5

# 税 務 課

実施日：平成 30 年 12 月 19 日

## 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

\* ( ) 数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度税務課歳入予算現額 2,902,267,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 1,783,665,626 円で収入率は予算現額に対し 61.4%、調定額に対し 61.1%である。

歳出においては、予算現額 224,388,164 円の処、執行額 133,780,932 円、予算残額 90,607,232 円、予算現額に対する執行率は 59.6%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 市 税	2,838,338,000	2,899,305,740	1,766,212,116	1,133,093,624	62.2	60.9
13 使用料及び手数料	3,470,000	2,664,750	1,713,460	951,290	49.3	64.3
15 県支出金	52,258,000	12,998,983	12,998,983	0	24.8	100.0
20 諸収入	8,201,000	2,741,767	2,741,067	700	33.4	99.9
合 計	2,902,267,000	2,917,711,240	1,783,665,626	1,134,045,614	61.4	61.1

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		200,794,164	115,629,563	85,164,601	57.5
	2	徴税費	200,794,164	115,629,563	85,164,601	57.5
		1 税務総務費	140,375,000	68,818,594	71,556,406	49.0
		2 賦課徴収費	60,419,164	46,810,969	13,608,195	77.4
5	農林水産業費		23,594,000	18,151,369	5,442,631	76.9
	1	農業費	23,594,000	18,151,369	5,442,631	76.9
		7 地籍調査事業費	23,594,000	18,151,369	5,442,631	76.9
	合 計		224,388,164	133,780,932	90,607,232	59.6

## 市税徴収状況調

〔平成30年9月30日現在〕

(単位：円：%)

現 年 分	科 目	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
	市民税(個人)	919,971,340	421,038,303	542,591	499,475,628	45.7
	市民税(法人)	149,480,300	145,377,100	25,400	4,128,600	97.2
	固定資産税	1,468,039,400	911,048,882	204,900	557,195,418	62.0
	交付金・納付金	6,211,500	6,211,500	0	0	100.0
	軽自動車税	102,021,000	95,566,200	73,200	6,528,000	93.6
	市たばこ税	102,726,433	84,323,922	0	18,402,511	82.0
	鉱産税	3,200	3,200	0	0	100.0
	入湯税	17,531,100	21,507,700	4,855,900	879,300	122.6
	計	2,765,984,273	1,685,076,807	5,701,991	1,086,609,457	60.9

滞 納 繰 越 分	科 目	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
	市民税(個人)	68,494,669	6,990,977	0	61,503,692	10.2
	市民税(法人)	4,046,465	641,007	0	3,405,458	15.8
	固定資産税	182,863,006	12,912,908	82,500	170,032,598	7.0
	軽自動車税	8,623,783	1,225,708	0	7,398,075	14.2
計	264,027,923	21,770,600	82,500	242,339,823	8.2	

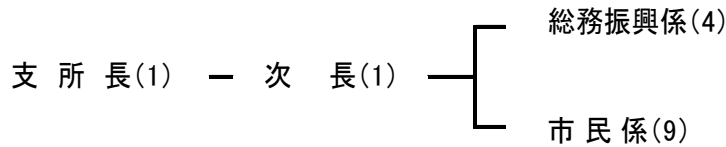
## 3 講評・所感

特になし

# 内 牧 支 所

実施日：平成 30 年 11 月 8 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度内牧支所歳入予算現額 267,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 119,325 円で収入率は予算現額に対し 44.6%、調定額に対し 44.6%である。

歳出においては、予算現額 123,855,000 円の処、執行額 62,144,002 円、予算残額 61,710,998 円、予算現額に対する執行率は 50.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。 [平成 30 年 9 月 30 日現在]

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	16,000	16,200	16,200	0	101.2	100.0
20 諸収入	251,000	251,000	103,125	147,875	41.0	41.0
合 計	267,000	267,200	119,325	147,875	44.6	44.6

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		123,855,000	62,144,002	61,710,998	50.1
	1	総務管理費	123,855,000	62,144,002	61,710,998	50.1
		9 内牧支所費	123,855,000	62,144,002	61,710,998	50.1
	合 計		123,855,000	62,144,002	61,710,998	50.1

## 3 講評・所感

区長研修について、本年度は平成 30 年 5 月 22 日～23 日、地域型堆肥化事業(ダンボールコンポスト等)の活動を行っている福岡市の NPO 法人循環生活研究所にて、生ごみのリサイクルについて研修された。暮らしに必要なものを地域内で循環させる取り組みである。

災害を経験した折、改めて水と電気の有難さを再確認したが、生活ごみに於いても皆様は御苦労なされた事と推察する。やみくもに廃棄も出来ず、かと云ってゴミは勝手に生きる為の廃物として発生するので厄介である。

そこで考え出されたのがダンボールコンポストである。つまり生活ごみをダンボールで発酵させる仕組みである。

素材は焼モミ殻とヤシ殻チップをダンボールに入れて、その中に家庭の生ごみを投入し混ぜ合わせるだけである。

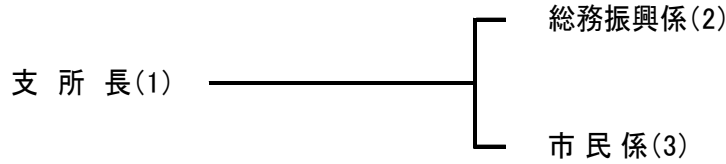
勿論、菌類は使用しない。一週間に 1 回水分を加えながら適宜混ぜる事で酸素を取り入

れ発酵を促し、約三週間熟成すれば堆肥の完成である。堆肥化の過程で発生する虫への対策としては、通気性の良い布を被せる事で虫の侵入が抑えられ、毎回約50kgの生ごみを投入出来、悪臭もほぼ無いとの事である。

# 波野支所

実施日：平成 30 年 11 月 13 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度波野支所歳入予算現額 183,451,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 1,822,380 円で収入率は予算現額に対し 0.9%、調定額に対し 28.3%である。

歳出においては、予算現額 254,800,800 円の処、執行額 205,099,566 円、予算残額 49,701,234 円、予算現額に対する執行率は 80.4%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	1,524,000	0	0	0	0.0	0.0
20 諸収入	6,427,000	6,427,000	1,822,380	4,604,620	28.3	28.3
21 市債	175,500,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	183,451,000	6,427,000	1,822,380	4,604,620	0.9	28.3

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		241,074,000	195,996,142	45,077,858	81.3
	1	総務管理費	241,074,000	195,996,142	45,077,858	81.3
		10波野支所費	55,159,000	26,220,142	28,938,858	47.5
		16波野支所整備費	185,915,000	169,776,000	16,139,000	91.3
4	衛生費		13,726,800	9,103,424	4,623,376	66.3
	1	保健衛生費	13,726,800	9,103,424	4,623,376	66.3
		11 波野保健センター管理費	13,726,800	9,103,424	4,623,376	66.3
	合計		254,800,800	205,099,566	49,701,234	80.4

### 3 講評・所感

福祉バス運行事業について、財源は一般財源で予算額は1,728千円である。

実績は、運行日数164日、稼働率66.9%(運行可能日数245日)、利用者数835名と高率で運行されており、少子高齢化の波の中、有効に財源が住民の為に費やされている事は喜ばしい事である。

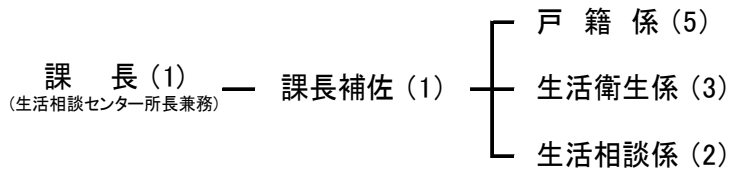


# 【 市民部 】

## 市民課

実施日：平成 30 年 10 月 23 日

### 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数



### 2 予算執行状況

平成 30 年度市民課歳入予算現額 37,545,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 10,400,340 円で収入率は予算現額に対し 27.7%、調定額に対し 58.0%である。

歳出においては、予算現額 800,066,600 円の処、執行額 727,172,768 円、予算残額 72,893,832 円、予算現額に対する執行率は 90.8%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	14,050,000	14,050,000	6,801,400	7,248,600	48.4	48.4
14 国庫支出金	13,647,000	1,564,000	1,313,000	251,000	9.6	83.9
15 県支出金	808,000	0	0	0	0.0	0.0
20 諸収入	9,040,000	2,293,940	2,285,940	8,000	25.2	99.6
合計	37,545,000	17,907,940	10,400,340	7,507,600	27.7	58.0

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		127,353,000	67,944,548	59,408,452	53.3
	3	戸籍住民基本台帳費	127,353,000	67,944,548	59,408,452	53.3
		1 戸籍住民基本台帳費	127,353,000	67,944,548	59,408,452	53.3
3	民生費		13,733,000	3,309,134	10,423,866	24.0
	1	社会福祉費	3,383,000	1,309,913	2,073,087	38.7
		14 消費生活センター運営費	3,383,000	1,309,913	2,073,087	38.7
	5	生活困窮者対策費	10,350,000	1,999,221	8,350,779	19.3
		1 生活困窮者自立支援費	10,350,000	1,999,221	8,350,779	19.3
4	衛生費		658,980,600	655,919,086	3,061,514	99.5
	1	保健衛生費	32,472,000	31,038,688	1,433,312	95.5
		5 生活衛生費	32,472,000	31,038,688	1,433,312	95.5
	2	清掃費	626,508,600	624,880,398	1,628,202	99.7
		1 塵芥処理費	407,819,600	406,191,398	1,628,202	99.6
		2 し尿処理費	218,689,000	218,689,000	0	100.0
	合	計	800,066,600	727,172,768	72,893,832	90.8

### 3 事業の概要

事務事業名	事業内容及び現況
戸籍事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸籍法に基づく戸籍届書の審査及び受理(H30.1月～9月:849件)</li> <li>・戸籍届書の受理後、速やかな記載及び関係市町村への送付業務</li> <li>・戸籍関係証明書及び各種証明書等の窓口(郵便請求)による交付請求に係る交付事務(H30.4月～9月:10,780件)</li> <li>・戸籍記録文字抽出事業</li> </ul>
住民基本台帳事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民基本台帳法に基づく住民異動届書の審査及び受領(H30.4月～9月:1,867人)</li> <li>・転出、転入者における各種手続きのため、各課での必要な手続きを把握し、各課への手続きを案内</li> <li>・住民異動届書受領後の住民記録システム入力、住民票や転出証明書等の発行業務</li> <li>・住民票の写し及び各種証明書等の窓口及び郵便での請求に係る交付事務(H30.4月～9月:9,350件)</li> <li>・旧氏併記に伴う住基システム改修事業</li> <li>・マイナンバーカード交付関連事業</li> </ul>
犯歴・身上照会業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県警からの在籍などの情報提供、問い合わせに対する回答事務</li> <li>・叙勲等に伴う犯歴照会に対する回答事務</li> </ul>
旅券事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅券(パスポート)の申請受付及び発行に関する業務</li> <li>・一般旅券発行数(H30.4月～9月:291件)</li> </ul>
証明書コンビニ交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ交付準備業務(平成31年2月1日開始予定)</li> </ul>
家庭用生ごみ処理機、処理容器推進事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各世帯から排出される生ごみの減量化及び堆肥として資源化を図る、生ごみ処理機及び処理容器を設置する者に対しての補助支援</li> <li>※平成30年度(9月末現在)申請者数(処理機16基・処理容器3基)</li> </ul>
一般廃棄物収集運搬事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物を適正に処理し環境保全と公衆衛生の向上を図る。</li> <li>・平成29年度一般廃棄物処理実績 可燃性ごみ4,419t、不燃ごみ126t、資源ごみ340t、容器包装回収物320t</li> </ul>
狂犬病予防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狂犬病の予防法に基づき、狂犬病の予防とまん延を防止、公衆衛生の向上を図るため、犬の登録及び予防注射を実施する。</li> <li>※平成30年度(9末日現在)</li> <li>・登録総数1,598頭(うち今年度新規登録67頭)、注射済数914頭</li> </ul>
消費生活センター運営事業	<p>1 消費生活相談(相談件数 新規213件:4月～9月 H29年度実績422件)</p> <p>(1)消費生活相談…消費者からの相談に対し、自主解決のための助言や斡旋等を行う。消費者利益の擁護と増進を図る。</p> <p>(2)全国消費者生活情報ネットワークの管理等…独立行政法人国民生活センターの消費生活情報ネットワークシステムに情報を提供し、苦情相談等の迅速な処理と被害発生情報等の的確な把握に努める。</p> <p>(3)各種会議・研修などへの参加…複雑多様化する消費者問題や新たな法律の制定・改正に対応するため、国民生活センター、熊本県が主催する研修講座や関係機関が実施する研修会等に参加し、職員や相談員の資質向上に努める。</p> <p>(4)庁内連携…消費者被害や多重債務問題等の解決のための体制を強化するため、関係各課(局室)が一堂に会し、取組状況や事例などについて情報交換を密にし、現在の庁内連携体制の維持、拡大を図る。</p> <p>2 消費者教育・啓発</p> <p>(1)各種啓発資料の作成</p> <p>①リーフレット等を作成し、地域で開催される各種講座において配布する。</p> <p>②各種団体等の依頼により資料を提供する。</p> <p>(2)講師派遣の実施(講師派遣回数 10回:H30年4月～9月末)</p> <p>各種団体などが開催する消費者啓発講座などへ、意識の啓発、消費生活の安定・向上のための支援をする。</p>

	<p>(3)阿蘇市見守りネットワーク体制強化(研修会開催2回:H30.8月、H31.1月開催予定)</p> <p>①見守りネットワーク推進員への研修を実施、地域での見守り体制の強化を図る。</p> <p>②見守りネットワーク参加団体等が一堂に会し、取組状況や被害情報交換を密にし、統一して被害防止の呼びかけや啓発講座を実施するなど、実効性のあるものにする。</p> <p>(4)多重債務者対策庁内連絡会議(研修会開催1回:H30.11開催予定) 庁内関係部署との連携の推進により、多重債務問題の解決を図る。</p> <p>(5)消費者被害防止の推進…国民生活センターが発行する見守り新鮮情報及び熊本県からの消費者被害情報をお知らせ端末や広報誌に転載する。</p> <p>(6)広報等を通じた啓発活動…広報媒体(広報誌、ホームページ、お知らせ端末)を通じ、消費者問題を一般消費者への啓発を働きかける。</p>
生活相談センター運営事業	<p>・阿蘇市生活相談センター運営事業(生活困窮者自立支援事業)</p> <p>1 生活困窮者自立支援の取り組み 生活保護に至る前の生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、「生活困窮者自立支援法」に基づき、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築するため、「生活相談センター運営事業」を行なう。</p> <p>2 事業の概要 生活相談センター窓口で、以下の事業を実施する。</p> <p>(1)自立相談支援事業 生活困窮者の課題の把握、支援計画を踏まえた包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施する。</p> <p>(2)一時生活支援事業 一定の住居のない生活困窮者に対し、一時的な宿泊場所や衣食を提供する。</p> <p>(3)住宅確保給付金 離職等により経済的に困窮者し、住居を失った又はその恐れのある方を対象に住宅確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保と就労機会の確保に向けた支援を実施する。</p> <p>(4)就労準備支援事業 一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験等の支援を実施する。</p> <p>(5)家計相談支援事業 家計収支全体の改善のため、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等の支援を実施する。</p> <p>(6)自立相談支援機関による就労支援 ハローワーク等の専門機関と連携のうえ、同行による求職活動支援等を実施する。</p>

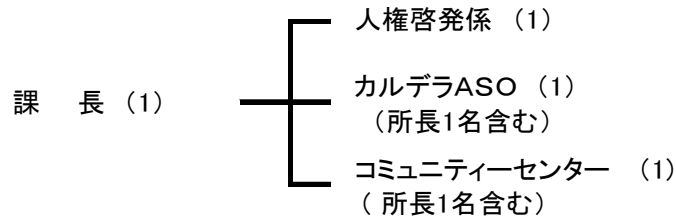
#### 4 講評・所感

マイナンバー制度が施行されてから久しいが、普及率は10%程度である。大方の市民の認知度が低いと云ってしまったら失礼だが。やはり今一つインパクトが無いのであろう。心配なのは災害時のトラブルによるネット障害等の業務の影響である。とは云えAI人工知能の発達により、諸々の機械が開発されている最中、文明発達の影で先行される悪用者が後を絶たない現実をみるにつけ、世紀末を連想させる事である。

# 人権啓発課

実施日：平成 30 年 10 月 23 日

## 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度人権啓発課歳入予算現額 14,484,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 500,440 円で収入率は予算現額に対し 3.4%、調定額に対し 1.6%である。

歳出においては、予算現額 50,751,000 円の処、執行額 26,054,119 円、予算残額 24,696,881 円、予算現額に対する執行率は 51.3%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	10,000	10,000	8,300	1,700	83.0	83.0
15 県支出金	13,309,000	0	0	0	0.0	0.0
20 諸収入	1,165,000	30,212,624	492,140	29,720,484	42.2	1.6
合計	14,484,000	30,222,624	500,440	29,722,184	3.4	1.6

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		50,751,000	26,054,119	24,696,881	51.3
	1	社会福祉費	50,751,000	26,054,119	24,696,881	51.3
		10 人権対策費	12,559,000	7,241,546	5,317,454	57.6
		11 コミュニティーセンター運営費	22,315,000	11,470,753	10,844,247	51.4
		12 カルセラASO運営費	14,497,000	6,795,186	7,701,814	46.8
		13 男女共同参画推進費	1,380,000	546,634	833,366	39.6
		合計	50,751,000	26,054,119	24,696,881	51.3

### 3 事業の概要

	事務事業名	事業の内容及び現況
人権啓発係	1.阿蘇市人権同和推進協議会総会	・阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会 平成30年5月9日(水)午前10時 サンクラウン大阿蘇において開催 参加者125名。平成29年度決算、平成30年度事業計画、予算などを議決。総会終了後、啓発ビデオによる研修を実施した。
	2.阿蘇市人権フェスティバル	・阿蘇市人権フェスティバル開催 期日:11月22日(木) 午前9時 阿蘇体育館 内容:ステージ部門(講演、人権劇) 展示部門(人権標語、人権パネル、人権ポスター)
	3. 人権作文の発刊	・人権作文の発刊 2,700部発刊 学校、行政機関、企業、各種団体等へ配布
	4. 阿蘇市男女共同参画推進協議会	(1)審議会及び研修会の開催(年6回) ・審議会実施(5/9、7/12、10/4、11/1、2/上旬) ・審議会研修(9/15:くまもと県民交流館パレア) (2)阿蘇市男女共同参画推進計画にのっとり、市の政策が執り行われているかを見守る。 (3)男女共同参画川柳の募集を行い、その川柳を掲載した平成31年度版のカレンダーを作成し、全戸配布により啓発に努める。
	5.阿蘇市男女共同参加推進協議会	(1)阿蘇市男女共同参画推進計画により、各課が実行するように努める。
	6.阿蘇市女性団体連絡協議会	(1)災害時の炊き出し、ボランティア活動、環境問題への取り組みや春・秋の交通安全運動や人権問題に関する研修への取り組み等 (2)市主催の行事等に積極的に参加し、女性の社会進出に努める。
コミュニティ-センター	コミュニティーセンター運営事業	1.相談事業 ・生活相談、就労相談、健康相談、教育相談、育児相談、高齢者相談等に年間を通して対応できる体制の確立、また、電話や相談員が自宅訪問、関係機関への連絡調整を行った。 相談件数、年間45件(平成29年度) 2.講演会等 周辺地域の協力により交流講座開講式、人権子ども会出発式、ヒューマン21文化祭、クリスマス会等を計画実施、ヒューマン21文化祭では、小中学生による人権太鼓の演奏、YMCA黒川保育園・阿蘇小学校・阿蘇中学校の協力による地域間・世代間の交流事業を展開するとともに、NPO法人ヒューマン21の会による「福祉と人権のまちづくり」についての講演会を実施した。 例年、市内小中高の各学校の新転任教職員(市新規採用職員参加)を対象とした同和問題、人権問題の現地研修会を開催(年2回)した。 夏休み期間中には、市内小学校の教職員現地研修会、人権講和やフィールドワーク等を実施した。 3.地域福祉事業 地域の一人暮らし高齢者宅又は病院及び入所施設への訪問活動、困りごと相談を実施した。 4.地域交流促進事業 カラオケ・フラダンス・書道・パソコン・生け花・手話の講座を開催

		<p>(各講座は月に2日～4日開催、参加者延54名)手話講座は本年度より開講した。 開講式・文化祭・クリスマス会等の交流会を開催した。 講座生による福祉施設などへの慰問活動を実施した。(年3～4回)</p> <p>5.施設利用 現在20件 他団体の会議及び自主講座による利用等による貸館(会議室等)の利用。</p>
カルデラASO	カルデラASO運営事業	<p>1.相談事業 ・相談事業(生活・就労・健康・教育・高齢者等)については、決まった相談日を設定せず年間を通して随時受けられる体制をとっている。相談者が来館されるケースも増えてきたが、電話又は指導員が実際自宅に伺って相談を受ける場合もあり十分な相談が受けられるようになってきている。また、相談者のプライバシーについても配慮している。相談の内容により所長及び指導員が直接行政や関係機関と相談を行うなど速やかな問題解決に努めている。</p> <p>2.人権子ども会 ・教育課において、小学生の部(月曜日・木曜日の週2回 夕方16:00～18:00頃まで)と中高生の部(月曜日・木曜日の週2回19:00～21:00頃まで)の2部体制で実施して基礎学力の向上及び人権学習を行っている。(小学生の部18回:児童数204名・教職員35名 中高生の部22回:生徒数167名、職員55名) ・7月30日(月)に小中校生の主催により「人権子ども会納涼祭」を開催予定であったが、台風12号の影響で中止になり、学力向上のみならず日頃お世話になっている教職員や保護者との交流ができず残念であった。</p> <p>3.各種研修会の実施 ・7月27日(金)23名の参加を得て開催した一の宮校区新転任者学習会は、自由同和会一の宮支部長、指導員を講師に招聘し、対策事業等の成果について学習した。7月30日の現地学習会は、台風12号の影響で中止となった。</p> <p>4.各種講座 ・本年度は、着物リメイク講座(12回109名)(講座生:12名中地区内4名 2回/月)パッチワーク講座(22回 221名)(講座生 17名中地区内0名 2回/月及び随時)を実施している。隣保館利用促進と交流活動の充実を図ることが出来ている。特にパッチワーク講座については、利用しやすい施設と好評を博し、施設の利用向上に大きく寄与している。例年のことながら受講生の高齢化は否めず生涯学習講座の存亡が危惧され、壮年層(40歳代～50歳代)の講座生の掘り起こしを模索し館利用向上を図っていく。</p>

#### 4 講評・所感

住宅、宅地取得資金について、過年度未収金は29年度末30,207,624円で、平成30年度収納額(平成30年9月30日現在)は合計で490,000円である。(内訳:平成6年度分150,000円、平成14年度分120,000円、平成26年度分58,416円、平成27年度分161,584円)

うわべで申せば信じがたい収納であるが、そもそも国は何で現金渡し切りの制度で蓋をってしまったのか?時の権力の配慮の無さから身分制度が生まれ、云われなき価値観を強調しながら現代迄引き続いてきた人間の愚かさを何故一刻も早く気付かないのか。

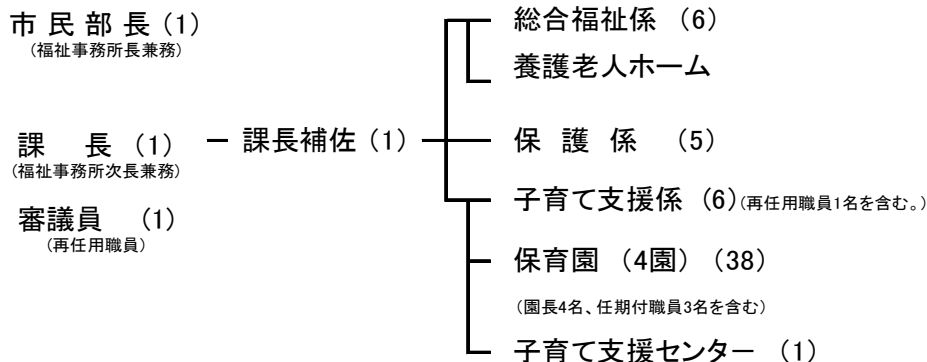
早い話、人間の営みは全世界同じ作法であろう。その事を上品下品と区別し、さげすむならば知性が痴性と同格であると思ひ知るべきである。

忖度よりも斟酌の配慮をもって一部の人間よりも、それぞれの人間の心情をもって対応する寛大さが、今こそ求められると申し上げたい。

# 福祉課

実施日：平成 30 年 12 月 18 日

1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数



2 予算執行状況

平成 30 年度福祉課歳入予算現額 2,367,585,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 824,297,819 円で収入率は予算現額に対し 34.8%、調定額に対し 75.2%である。  
 歳出においては、予算現額 4,035,617,240 円の処、執行額 2,427,610,137 円、予算残額 1,608,007,103 円、予算現額に対する執行率は 60.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

(1) 歳入の状況 (単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
12 分担金及び負担金	262,585,000	102,907,830	50,879,042	52,028,788	19.3	49.4
13 使用料及び手数料	6,199,000	3,540,180	1,708,840	1,831,340	27.5	48.2
14 国庫支出金	1,420,522,000	916,771,294	741,771,290	175,000,004	52.2	80.9
15 県支出金	646,295,000	46,139,379	23,794,379	22,345,000	3.6	51.5
16 財産収入	19,444,000	5,553,012	2,776,506	2,776,506	14.2	50.0
20 諸収入	4,540,000	20,849,726	3,367,762	17,481,964	74.1	16.1
21 市債	8,000,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	2,367,585,000	1,095,761,421	824,297,819	271,463,602	34.8	75.2



## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		4,016,551,240	2,415,456,897	1,601,094,343	60.1
	1	社会福祉費	1,425,974,000	677,952,684	748,021,316	47.5
		1 社会福祉総務費	187,266,000	129,610,304	57,655,696	69.2
		3 障害者福祉費	1,011,341,000	439,183,132	572,157,868	43.4
		4 老人福祉費	30,269,000	24,048,363	6,220,637	79.4
		5 老人保護措置費	177,855,000	67,851,297	110,003,703	38.1
		6 介護予防施設管理費	2,449,000	525,438	1,923,562	21.4
		7 一の宮高齢センター管理費	16,794,000	16,734,150	59,850	99.6
	2	児童福祉費	2,167,629,240	1,518,666,873	648,962,367	70.0
		1 児童福祉総務費	706,336,928	288,629,167	417,707,761	40.8
		2 母子福祉費	10,447,000	4,540,310	5,906,690	43.4
		3 児童運営費	1,435,892,000	1,216,544,711	219,347,289	84.7
		4 児童福祉施設費	14,953,312	8,952,685	6,000,627	59.8
	3	生活保護費	422,427,000	218,807,340	203,619,660	51.7
		1 生活保護総務費	60,011,000	30,154,419	29,856,581	50.2
		2 扶助費	362,416,000	188,652,921	173,763,079	52.0
	4	災害救助費	521,000	30,000	491,000	5.7
		1 災害救助費	515,000	30,000	485,000	5.8
		2 行旅死亡人取扱費	6,000	0	6,000	0.0
4	衛生費		19,066,000	12,153,240	6,912,760	63.7
	1	保健衛生費	19,066,000	12,153,240	6,912,760	63.7
		9 阿蘇保健福祉センター管理費	19,066,000	12,153,240	6,912,760	63.7
		合 計	4,035,617,240	2,427,610,137	1,608,007,103	60.1

## 3 講評・所感

子供の虐待防止を考えるシンポジウムについて、講師は自らが親からの虐待を受けた当事者であり、その経験から現在、講演活動をされている由。

主旨は

- ・一度暴行を加えた保護者は、「この子は自分を憎んでいる」と思い、暴行を止められない。
- ・被害者には措置する事は対応でしかなく、苦しんでいる親を救う事が虐待から守ることが出来るものである。

この主旨を理解するのに正直違和感がある。

小職なりにいくつかの事例を考えてみたが自信は勿論皆無である。

①ほとんどは子のしつけが理由。

自己の価値観を子に押し付ける度合いが激しい時に発生する。

- ②人間が持つ本能の一つである生理的な感觸の違和感。
- ③血縁の隔たり。
- ④配偶者一辺倒の価値観。
- ⑤世間体(子を主とする)。

主旨の中にある子が、憎んでいると云う背景は善意的に見れば①の理由であろう。この連鎖反応がエスカレートし深みにはまってしまう事である。

最も悲惨なのは③の血縁関係である。この行為は④に移行するよりも表裏一体である。

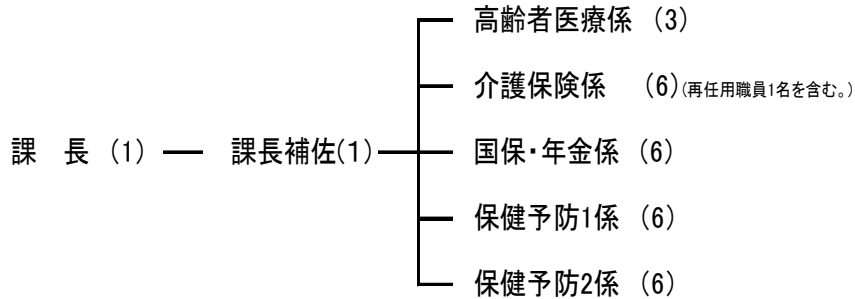
⑤については親の苦悩は子に対する煩悩と同質で、共に救われようとする温かみの感じる所作であってほしいと願う。であれば親の子に対する苦しむ姿が解消されるのもうなずける事になるが、そんなに簡単に解決できない処がこの問題の苦界でもある。

# ほけん課

実施日：平成 30 年 10 月 22 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在）

\*（ ）数字は一般職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度ほけん課（一般会計）歳入予算現額 310,016,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 7,961,005 円で収入率は予算現額に対し 2.5%、調定額に対し 13.6%である。歳出においては、予算現額 1,850,489,000 円の処、執行額 991,707,049 円、予算残額 858,781,951 円、予算現額に対する執行率は 53.5%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
12 分担金及び負担金	5,757,000	7,270	7,270	0	0.1	100.0
14 国庫支出金	10,849,000	5,224,050	4,166,000	1,058,050	38.3	79.7
15 県支出金	241,945,000	1,586,025	1,057,000	529,025	0.4	66.6
18 繰入金	51,450,000	51,448,122	2,730,735	48,717,387	5.3	5.3
20 諸収入	15,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	310,016,000	58,265,467	7,961,005	50,304,462	2.5	13.6

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		1,561,289,000	903,454,513	657,834,487	57.8
	1	社会福祉費	1,561,289,000	903,454,513	657,834,487	57.8
		1 社会福祉総務費	385,630,000	0	385,630,000	0.0
		2 国民年金事務費	9,121,000	4,082,104	5,038,896	44.7
		4 老人福祉費	519,110,000	420,490,000	98,620,000	81.0
		8 後期高齢者医療費	647,428,000	478,882,409	168,545,591	73.9
4	衛生費		289,200,000	88,252,536	200,947,464	30.5
	1	保健衛生費	289,200,000	88,252,536	200,947,464	30.5
		1 保健衛生総務費	108,861,000	45,459,224	63,401,776	41.7
		2 予防費	98,556,000	27,239,006	71,316,994	27.6
		3 健康増進費	48,960,000	821,767	48,138,233	1.6
		4 母子保健費	27,683,000	10,948,331	16,734,669	39.5
		8 保健対策推進費	3,498,000	2,791,763	706,237	79.8
		9 一の宮保健センター 管理費	1,642,000	992,445	649,555	60.4
		合 計	1,850,489,000	991,707,049	858,781,951	53.5

## 3 講評・所感

当職もよわり76歳を重ねてきたが、ほけん課は国保年金係、保健予防係、介護保険係、高齢者医療係と夫々に身近な存在の関係である。

幸いに酒を主とした日常生活で何の不满もないが？流石に高齢者保険の自己負担はつらいものである。

残念ながら心の臓を痛み毎月担当医の治療を受けているが、投薬は勿論、後期高齢者向けジェネリック医薬品である。

先行薬と全く性能に変わりがなく安心して飲んでいるが、阿蘇市では546名の方々が未利用者で県全体でも19,653人に及ぶと云う。皆さんもジェネリック医薬品の愛好者になりましょう。

## (介護保険)

40歳になると老後に備えて、介護保険制度の適用となり介護保険を納付しなければならない。

最高額は年間116,280円であるが、過年度滞納額が41,512,076円の内、収納額は30年度2,473,932円であったので、残高39,044,370円(内過納額6,226円)の滞納となっている。例年収納率は10%未満で、30年度は5.96%である。10月以降の収納に期待をもちたいが、介護保険に限らず、諸税の過年度滞納額は簡単に収納出来ないのが各自自治体の悩ましい処である。

## 《国民健康保険事業特別会計》

### 1 予算の執行状況

平成30年度ほけん課〈特別会計〉歳入予算現額3,807,481,000円の処、9月30日現在収入済額1,771,863,318円で収入率は予算現額に対し46.5%、調定額に対し73.1%である。

歳出においては、予算現額3,801,761,000円の処、執行額1,428,893,108円、予算残額2,372,867,892円、予算現額に対する執行率は37.5%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成30年9月30日現在〕

#### (1) 歳入の状況 (単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 国民健康保険税	770,454,000	1,003,623,205	351,825,386	651,797,819	45.6	35.0
2 一部負担金	2,000	0	0	0	0.0	0.0
4 使用料及び手数料	550,000	220,800	220,800	0	40.1	0.0
6 県支出金	2,449,000,000	1,214,508,000	1,214,508,000	0	49.5	100.0
8 財産収入	1,000	0	0	0	0.0	0.0
10 繰入金	385,631,000	0	0	0	0.0	0.0
11 繰越金	197,221,000	197,221,849	197,221,849	0	100.0	100.0
12 諸収入	4,622,000	8,112,577	8,087,283	25,294	174.9	99.6
合計	3,807,481,000	2,423,686,431	1,771,863,318	651,823,113	46.5	73.1

#### 国民健康保険税徴収状況調 〔平成30年9月30日現在〕 (単位：円：%)

国民健康保険税	調定額	収納額	過誤納額	収入未済額	収納率
現年課税分	773,587,400	325,678,400	1,798,500	449,707,500	42.0
滞納繰越分	229,611,905	26,146,986	12,167	203,477,086	11.3
計	1,003,199,305	351,825,386	1,810,667	653,184,586	35.0

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費	69,817,000	34,311,726	35,505,274	49.1
	1 総務管理費	66,508,000	33,334,213	33,173,787	50.1
	2 徴税費	3,044,000	927,113	2,116,887	30.4
	3 運営協議会費	265,000	50,400	214,600	19.0
2	保険給付費	2,395,972,000	1,038,422,355	1,357,549,645	43.3
	1 療養諸費	2,089,367,000	873,652,652	1,215,714,348	41.8
	2 高額療養費	295,297,000	159,842,923	135,454,077	54.1
	3 移送費	2,000	0	2,000	0.0
	4 出産育児諸費	10,506,000	4,646,780	5,859,220	44.2
	5 葬祭諸費	800,000	280,000	520,000	35.0
3	国民健康保険事業費納付金	1,039,703,000	345,898,000	693,805,000	33.2
	1 医療給付費分	772,572,000	257,043,675	515,528,325	33.2
	2 後期高齢者支援金等	195,446,000	65,007,508	130,438,492	33.2
	3 介護納付金分	71,685,000	23,846,817	47,838,183	33.2
4	共同事業拠出金	21,000	0	21,000	0.0
	1 共同事業拠出金	21,000	0	21,000	0.0
6	保健事業費	37,670,000	5,514,519	32,155,481	14.6
	1 特定検診診査等事業費	26,174,000	2,459,526	23,714,474	9.3
	2 保健事業費	11,496,000	3,054,993	8,441,007	26.5
7	基金積立金	1,000	0	1,000	0.0
	1 基金積立金	1,000	0	1,000	0.0
9	諸支出金	113,515,000	4,746,508	108,768,492	4.1
	1 償還金及び還付加算金	98,935,000	3,830,274	95,104,726	3.8
	2 繰出金	14,580,000	916,234	13,663,766	6.2
11	予備費	145,062,000	0	145,062,000	0.0
	1 予備費	145,062,000	0	145,062,000	0.0
	合計	3,801,761,000	1,428,893,108	2,372,867,892	37.5

## 《後期高齢者医療事業特別会計》

### 1 予算の執行状況

平成30年度ほけん課〈特別会計〉歳入予算現額429,928,000円の処、9月30日現在収入済額117,000,194円で収入率は予算現額に対し27.2%、調定額に対し45.0%である。

歳出においては、予算現額429,928,000円の処、執行額98,954,455円、予算残額330,973,545円、予算現額に対する執行率は23.0%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成30年9月30日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 後期高齢者医療保険料	249,530,000	249,896,500	107,798,500	142,098,000	43.2	43.1
2 使用料及び手数料	51,000	50,000	15,800	34,200	30.9	31.6
4 繰入金	162,658,000	0	0	0	0.0	0.0
5 繰越金	7,869,000	7,869,101	7,869,101	0	100.0	100.0
6 諸収入	9,820,000	1,749,393	1,316,793	432,600	13.4	75.2
合計	429,928,000	259,564,994	117,000,194	142,564,800	27.2	45.0

#### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費	36,487,000	18,749,826	17,737,174	51.3
	1 総務管理費	35,829,000	18,596,049	17,232,951	51.9
	2 徴收費	658,000	153,777	504,223	23.3
2	後期高齢者医療広域連合納付金	379,236,000	76,732,800	302,503,200	20.2
	1 後期高齢者医療広域連合納付金	379,236,000	76,732,800	302,503,200	20.2
3	保健事業費	11,819,000	1,451,828	10,367,172	12.2
	1 健康保持増進事業費	11,819,000	1,451,828	10,367,172	12.2
4	諸支出金	2,335,000	2,020,001	314,999	86.5
	1 償還金及び還付加算金	520,000	205,500	314,500	39.5
	2 繰出金	1,815,000	1,814,501	499	99.9
5	予備費	51,000	0	51,000	0.0
	1 予備費	51,000	0	51,000	0.0
	合計	429,928,000	98,954,455	330,973,545	23.0

## 《介護保険事業特別会計》

### 1 予算の執行状況

平成30年度ほけん課〈特別会計〉歳入予算現額3,585,796,000円の処、9月30日現在収入済額1,599,457,751円で収入率は予算現額に対し44.6%、調定額に対し45.7%である。

歳出においては、予算現額3,585,796,000円の処、執行額1,496,009,248円、予算残額2,089,786,752円、予算現額に対する執行率は41.7%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成30年9月30日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 保険料	626,203,000	666,739,076	311,761,027	354,978,049	49.7	46.7
2 分担金及び負担金	1,354,000	1,354,000	338,530	1,015,470	25.0	25.0
3 使用料及び手数料	121,000	120,000	42,800	77,200	35.3	35.6
4 国庫支出金	861,798,000	823,556,000	454,701,000	368,855,000	52.7	55.2
5 支払基金交付金	862,318,000	885,726,000	369,056,000	516,670,000	42.7	41.6
6 県支出金	466,949,000	443,742,125	201,700,000	242,042,125	43.1	45.4
7 財産収入	100,000	79,452	78,976	476	78.9	99.4
8 繰入金	511,722,000	418,331,000	6,348,000	411,983,000	1.2	1.5
9 繰越金	255,175,000	255,175,940	255,175,940	0	100.0	100.0
10 諸収入	56,000	161,988	255,478	△ 93,490	456.2	157.7
合計	3,585,796,000	3,494,985,581	1,599,457,751	1,895,527,830	44.6	45.7



## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

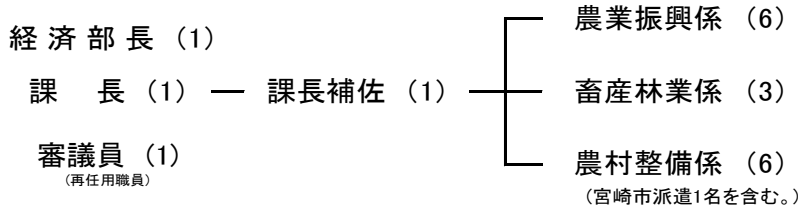
款	項	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費	87,994,000	48,085,306	39,908,694	54.6
	1 総務管理費	47,277,000	23,714,536	23,562,464	50.1
	2 徴収費	1,671,000	952,058	718,942	56.9
	3 介護認定審査会費	35,400,000	20,102,312	15,297,688	56.7
	4 計画推進委員会費	316,000	186,400	129,600	58.9
	5 サービス事業費	3,330,000	3,130,000	200,000	93.9
2	保険給付費	3,110,201,000	1,207,344,760	1,902,856,240	38.8
	1 介護サービス等諸費	2,800,766,000	1,088,305,578	1,712,460,422	38.8
	2 介護予防サービス等諸費	104,475,000	39,833,258	64,641,742	38.1
	3 その他諸費	3,360,000	1,287,580	2,072,420	38.3
	4 高額介護サービス等費	62,400,000	26,994,349	35,405,651	43.2
	5 高額医療合算介護サービス等費	7,200,000	751,870	6,448,130	10.4
	6 特定施設入所者介護サービス等費	132,000,000	50,172,125	81,827,875	38.0
4	基金積立金	50,300,000	50,079,452	220,548	99.5
	1 基金積立金	50,300,000	50,079,452	220,548	99.5
5	地域支援事業費	157,586,000	123,491,217	34,094,783	78.3
	1 介護予防・生活支援サービス事業費	60,187,000	33,612,290	26,574,710	55.8
	2 一般介護予防事業費	23,126,000	20,921,000	2,205,000	90.4
	3 包括的支援事業・任意事業費	74,021,000	68,906,897	5,114,103	93.0
	4 その他諸費	252,000	51,030	200,970	20.2
7	諸支出金	163,283,000	67,008,513	96,274,487	41.0
	1 償還金及び還付加算金	114,565,000	18,291,126	96,273,874	15.9
	3 繰出金	48,718,000	48,717,387	613	99.9
8	予備費	16,432,000	0	16,432,000	0.0
	1 予備費	16,432,000	0	16,432,000	0.0
	合計	3,585,796,000	1,496,009,248	2,089,786,752	41.7

# 【 経 済 部 】

## 農 政 課

実施日：平成 30 年 12 月 20 日

### 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



### 2 予算執行状況

平成 30 度農政課歳入予算現額 4,099,267,118 円の処、9 月 30 日現在収入済額 888,749,780 円で収入率は予算現額に対し 21.6%、調定額に対し 79.2%である。

歳出においては、予算現額 4,678,959,318 円の処、執行額 2,718,914,064 円、予算残額 1,960,045,254 円、予算現額に対する執行率は 58.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
12 分担金及び負担金	30,460,293	6,625,767	4,560,149	2,065,618	14.9	68.8
13 使用料及び手数料	677,000	715,515	75,365	640,150	11.1	10.5
14 国庫支出金	1,173,873,711	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	2,386,206,198	841,713,551	612,041,783	229,671,768	25.6	72.7
16 財産収入	0	27,403	27,403	0	0.0	100.0
19 繰越金	271,313,916	271,313,916	271,313,916	0	100.0	100.0
20 諸収入	4,636,000	986,164	731,164	255,000	15.7	74.1
21 市債	232,100,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	4,099,267,118	1,121,382,316	888,749,780	232,632,536	21.6	79.2

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5	農林水産業費		3,316,352,598	1,988,731,150	1,327,621,448	59.9
	1	農業費	3,234,578,598	1,963,667,205	1,270,911,393	60.7
		2 農業総務費	101,894,000	49,629,611	52,264,389	48.7
		3 農業振興費	1,257,759,398	1,121,873,401	135,885,997	89.1
		4 畜産振興費	65,125,200	11,044,251	54,080,949	16.9
		5 農地費	688,050,000	412,779,516	275,270,484	59.9
		6 農業振興地域整備事業費	1,377,000	292,508	1,084,492	21.2
		10 農村環境改善センター管理費	10,229,000	5,800,000	4,429,000	56.7
		12 水田農業経営確立対策事業費	16,566,000	13,151,808	3,414,192	79.3
		13 畜産振興総合対策事業費	841,042,000	349,017,000	492,025,000	41.4
		14 中山間地域等直接支払事業費	250,469,000	0	250,469,000	0.0
		15 中山間総合整備事業費	1,660,000	31,110	1,628,890	1.8
		16 経営基盤確立事業費	407,000	48,000	359,000	11.7
	2	林業費	81,774,000	25,063,945	56,710,055	30.6
		2 林業振興費	74,242,000	19,956,275	54,285,725	26.8
		3 林道事業費	5,832,000	3,907,670	1,924,330	67.0
		4 森林整備地域活動支援交付金事業費	1,700,000	1,200,000	500,000	70.5
10	災害復旧費		1,362,606,720	730,182,914	632,423,806	53.5
	2	農林水産業施設災害復旧費	1,362,606,720	730,182,914	632,423,806	53.5
		2 農業用施設災害復旧費	1,362,156,720	730,182,914	631,973,806	53.6
		3 林業施設災害復旧費	450,000	0	450,000	0.0
		合 計	4,678,959,318	2,718,914,064	1,960,045,254	58.1

## 《土地改良事業特別会計》

### 1 予算の執行状況

平成30年度農政課〈特別会計〉歳入予算現額688,000円の処、9月30日現在収入済額447,020円で収入率は予算現額に対し64.9%、調定額に対し65.1%である。

歳出においては、予算現額688,000円の処、執行額447,020円、予算残額240,980円、予算現額に対する執行率は64.9%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成30年9月30日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 分担金及び負担金	656,000	655,001	415,910	239,091	63.4	63.4
2 繰入金	32,000	31,110	31,110	0	97.2	100.0
合計	688,000	686,111	447,020	239,091	64.9	65.1

#### (2) 歳出の状況

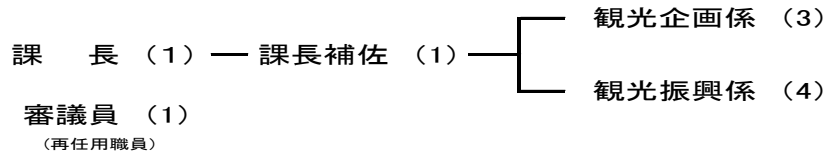
(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	農業費		688,000	447,020	240,980	64.9
	1	農業費	688,000	447,020	240,980	64.9
		1 中山間総合整備事業費	688,000	447,020	240,980	64.9
		合計	688,000	447,020	240,980	64.9

# 観光課

実施日：平成 30 年 11 月 16 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度観光課（一般会計）歳入予算現額 37,160,159 円の処、9 月 30 日現在収入済額 10,301,996 円で収入率は予算現額に対し 27.7%、調定額に対し 94.8%である。

歳出においては、予算現額 336,256,159 円の処、執行額 215,615,560 円、予算残額 120,640,593 円、予算現額に対する執行率は 64.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	4,249,000	2,594,100	2,594,100	0	61.0	100.0
14 国庫支出金	8,480,000	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	7,710,000	0	0	0	0.0	0.0
16 財産収入	8,217,000	4,862,030	4,303,737	558,293	52.3	88.5
19 繰越金	3,404,159	3,404,159	3,404,159	0	100.0	100.0
20 諸収入	5,100,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	37,160,159	10,860,289	10,301,996	558,293	27.7	94.8

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
6	商工費		336,256,159	215,615,566	120,640,593	64.1
	1	商工費	336,256,159	215,615,566	120,640,593	64.1
		1 商工総務費	143,056,000	69,500,858	73,555,142	48.5
		3 観光振興費	121,238,000	97,814,786	23,423,214	80.6
		4 施設管理費	71,962,159	48,299,922	23,662,237	67.1
		合計	336,256,159	215,615,566	120,640,593	64.1

### 3 講評・所感

阿蘇市は農業と観光を柱とする自治体である。

背後に世界に冠する阿蘇山が鎮座し、昔から観光資源には手厚く資金を投入し、観光推進を図ってきたことは自明の理である。

しかしながら自然の脅威である思わぬ災害により、財政面は厳しい運営を余儀なくされている現状に鑑み、今後は既成化された制度への見直しを断行し、重要な部分へは規正(助成の消滅)を、最も重要な観光資源については更なる助成をと、つまり飴とムチの論理を有効に駆使する事が肝要である。

## 《阿蘇山観光事業特別会計》

### 1 予算の執行状況

平成 30 年度観光課〈特別会計〉歳入予算現額 88,975,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 50,465,900 円で収入率は予算現額に対し 56.7%、調定額に対し 55.0%である。

歳出においては、予算現額 88,975,000 円の処、執行額 38,038,110 円、予算残額 50,936,890 円、予算現額に対する執行率は 42.7%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 使用料及び手数料	88,972,000	91,630,000	50,465,900	41,164,100	56.7	55.0
2 財産収入	1,000	0	0	0	0.0	0.0
5 諸収入	2,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	88,975,000	91,630,000	50,465,900	41,164,100	56.7	55.0

#### (2) 歳出の状況

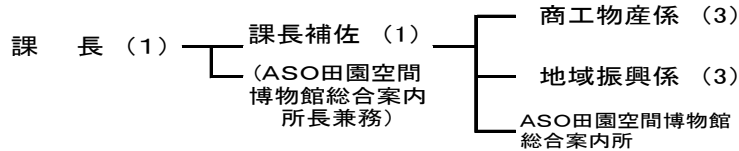
(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	観光施設費		73,582,000	29,065,620	44,516,380	39.5
	1	公園道路費	73,582,000	29,065,620	44,516,380	39.5
		1 公園道路管理費	73,582,000	29,065,620	44,516,380	39.5
2	観光振興費		12,620,000	8,972,490	3,647,510	71.0
	1	観光振興費	12,620,000	8,972,490	3,647,510	71.0
		1 観光振興費	12,620,000	8,972,490	3,647,510	71.0
3	予備費		2,773,000	0	2,773,000	0.0
	1	予備費	2,773,000	0	2,773,000	0.0
		1 予備費	2,773,000	0	2,773,000	0.0
		合 計	88,975,000	38,038,110	50,936,890	42.7

# まちづくり課

実施日：平成 30 年 11 月 15 日

## 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数



平成 30 年度まちづくり課〈一般会計〉歳入予算現額 176,360,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 26,873,380 円で収入率は予算現額に対し 15.2%、調定額に対し 33.2%である。

歳出においては、予算現額 217,283,000 円の処、執行額 114,476,105 円、予算残額 102,806,895 円、予算現額に対する執行率は 52.6%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	27,448,000	2,550,143	1,920,964	629,179	6.9	75.3
15 県支出金	28,500,000	0	0	0	0.0	0.0
16 財産収入	11,566,000	291,301	291,301	0	2.5	100.0
17 寄付金	70,000,000	70,000,000	20,107,131	49,892,869	28.7	28.7
18 繰入金	2,000,000	0	0	0	0.0	0.0
20 諸収入	36,846,000	8,004,243	4,553,984	3,450,259	12.3	56.8
合計	176,360,000	80,845,687	26,873,380	53,972,307	15.2	33.2



## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
6	商工費		217,283,000	114,476,105	102,806,895	52.6
	1	商工費	217,283,000	114,476,105	102,806,895	52.6
		1 商工総務費	414,000	64,800	349,200	15.6
		2 商工振興費	33,092,000	27,096,885	5,995,115	81.8
		5 夢の湯管理費	41,947,259	29,816,424	12,130,835	71.0
		6 田園空間博物館費	2,528,000	11,104	2,516,896	0.4
		7 特産物推進費	28,098,902	14,406,214	13,692,688	51.2
		8 まちづくり推進費	16,720,000	13,980,921	2,739,079	83.6
		9 地域振興対策費	38,221,839	7,829,264	30,392,575	20.4
		10 中央公園及びあそ ☆ピバ管理運営費	11,420,000	10,794,583	625,417	94.5
		11 草原情報館管理費	4,429,000	3,517,839	911,161	79.4
		12 ふるさと納税費	40,412,000	6,958,071	33,453,929	17.2
	合 計		217,283,000	114,476,105	102,806,895	52.6

## 3 講評・所感

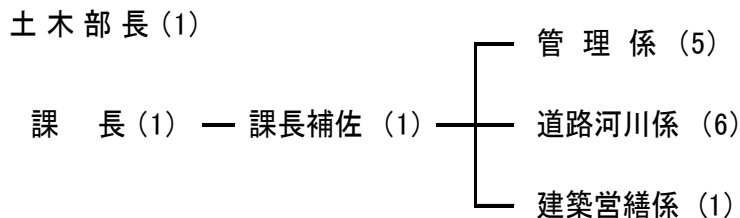
特になし

# 【 土 木 部 】

## 建設課

実施日：平成 30 年 11 月 5 日

### 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数



### 2 予算執行状況

平成 30 年度建設課歳入予算現額 2,528,619,506 円の処、9 月 30 日現在収入済額 109,613,178 円で収入率は予算現額に対し 4.3%、調定額に対し 100%である。  
 歳出においては、予算現額 2,921,445,506 円の処、執行額 1,962,607,485 円、予算残額 958,838,021 円、予算現額に対する執行率は 67.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	7,872,000	18,947	18,947	0	0.2	100.0
14 国庫支出金	1,694,683,000	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	41,320,000	0	0	0	0.0	0.0
16 財産収入	2,000	191,367	191,367	0	9,568.3	100.0
19 繰越金	109,242,506	109,242,506	109,242,506	0	100.0	100.0
20 諸収入	0	160,358	160,358	0	0.0	100.0
21 市債	675,500,000	0	0	0	0.0	0.0
合 計	2,528,619,506	109,613,178	109,613,178	0	4.3	100.0

## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
7	土木費		1,180,022,631	412,629,638	767,392,993	34.9
	1	土木管理費	229,413,000	79,196,841	150,216,159	34.5
		1 土木総務費	229,413,000	79,196,841	150,216,159	34.5
	2	道路橋梁費	782,315,320	306,337,466	475,977,854	39.1
		1 道路維持費	222,049,000	110,377,871	111,671,129	49.7
		2 道路新設改良費	393,592,320	90,821,659	302,770,661	23.0
		3 橋梁費	161,355,000	100,280,536	61,074,464	62.1
		4 水力発電施設周辺 地域整備費	5,319,000	4,857,400	461,600	91.3
	3	河川費	168,294,311	27,095,331	141,198,980	16.0
		1 河川事業費	168,294,311	27,095,331	141,198,980	16.0
10	災害復旧費		1,741,422,875	1,549,977,847	191,445,028	89.0
	3	公共土木施設災害復旧費	1,741,422,875	1,549,977,847	191,445,028	89.0
		1 河川等災害復旧費	1,741,422,875	1,549,977,847	191,445,028	89.0
		合 計	2,921,445,506	1,962,607,485	958,838,021	67.1

## 3 講評・所感

・国が進める働き方改革の一環の中で環境整備があるが、熊本県は地震災害による環境整備が緊急の最中、整備にかかる時間の余裕が無く、従って労務費や機械経費をそれぞれに積算(率をかける)する事が難しく、対応しづらいとの事。阿蘇市は柔軟に対応している事から良しと云うべきであろう。

・宅地耐震化推進事業補助金について

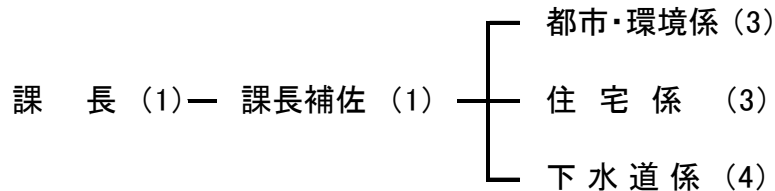
思わぬ地震災害で損害を蒙った住民の皆様には心からお見舞い申し上げますが、ほとんどを公費で賄う事から損害の査定は慎重である事は当然であろう。

今回、個人宅地の損害金額が見積額税込 41,590,800 円の高額であった。周辺住民への危険を避ける為、補助金は同額決定したが、見積もった業者が他県で東日本大震災後、何もかにもが高騰しているとは云え、心に引っかかる事例であった事は言うまでもない。

# 住環境課

実施日：平成 30 年 11 月 7 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度住環境課歳入予算現額 2,106,075,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 208,782,221 円で収入率は予算現額に対し 9.9%、調定額に対し 77.4%である。

歳出においては、予算現額 2,658,687,000 円の処、執行額 2,157,140,064 円、予算残額 501,546,936 円、予算現額に対する執行率は 81.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	102,492,000	102,562,561	41,804,391	60,758,170	40.7	40.7
14 国庫支出金	1,302,435,100	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	16,323,000	0	0	0	0.0	0.0
16 財産収入	82,000	9,860	9,860	0	12.0	100.0
17 寄附金	1,000	0	0	0	0.0	0.0
18 繰入金	7,163,000	0	0	0	0.0	0.0
19 繰越金	166,763,900	166,763,900	166,763,900	0	100.0	100.0
20 諸収入	815,000	400,110	204,070	196,040	25.0	51.0
21 市債	510,000,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	2,106,075,000	269,736,431	208,782,221	60,954,210	9.9	77.4

## (2) 歳出の状況

(単位：円)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
3	民生費		108,715,000	34,114,223	74,600,777	31.3
	4	災害救助費	108,715,000	34,114,223	74,600,777	31.3
		1 災害救助費	45,882,000	13,513,896	32,368,104	29.4
		3 仮設住宅管理費	62,833,000	20,600,327	42,232,673	32.7
4	衛生費		80,584,000	28,777,884	51,806,116	35.7
	1	保健衛生費	80,584,000	28,777,884	51,806,116	35.7
		6 環境政策費	73,410,000	26,496,474	46,913,526	36.0
		7 環境共生基金事業	7,174,000	2,281,410	4,892,590	31.8
7	土木費		2,307,943,000	2,003,351,399	304,591,601	86.8
	1	都市計画費	316,114,000	217,420,575	98,693,425	68.7
		1 都市計画総務費	36,765,000	17,420,575	19,344,425	47.3
		3 下水道費	279,349,000	200,000,000	79,349,000	71.5
	5	住宅費	1,991,829,000	1,785,930,824	205,898,176	89.6
		1 住宅管理費	42,177,000	18,028,924	24,148,076	42.7
		2 住宅建設費	100,093,000	57,296,388	42,796,612	57.2
		3 災害公営住宅建設費	1,849,559,000	1,710,605,512	138,953,488	92.4
10	災害復旧費		161,445,000	90,896,558	70,548,442	56.3
	5	都市施設災害復旧費	157,445,000	88,018,558	69,426,442	55.9
		2 被災宅地復旧支援事業費	157,445,000	88,018,558	69,426,442	55.9
	6	その他公共・公用施設災害復旧費	4,000,000	2,878,000	1,122,000	71.9
		5 地域水道施設復旧事業費	4,000,000	2,878,000	1,122,000	71.9
	合計		2,658,687,000	2,157,140,064	501,546,936	81.1

## 3 講評・所感

## ・ 防蟻防蟻処理業務委託(仮設住宅)

予定価格 10,646,000 円(税抜)

落札価格 2,350,000 円

最高入札 6,500,000 円

元々予定価格は4ヵ所合計  $2,941 \text{ m}^2 \times 3,148 \text{ 円} = 9,258,268 \text{ 円}$  + 共通仮設費で積算されたが、単価 799 円で落札され 2,350,000 円となった。相当の乖離があるが其の積算に誤算があった。いずれにせよ写真確認上は立派な出来栄であった。

## ・ 災害公営住宅団地(小里、古神の2棟)

① 予定価格 560,227,000 円(税抜)

落札価格 560,000,000 円 率 99.95%

最高入札 560,020,700 円

- ② 予定価格 673,453,000 円(税抜)  
落札価格 673,000,000 円 率 99.93%  
最高入札 673,450,000 円

地震後の落札率は県下一円 99%前後の高率であるが、それでもなお不落が続いている現状は、各自治体の予算執行に多大な影響を与え、特に実質収支比率への影響が大である。

## 《下水道事業特別会計》

### 1 予算執行状況

平成30年度住環境課〈特別会計〉歳入予算現額880,344,153円の処、9月30日現在収入済額258,117,317円で収入率は予算現額に対し29.3%、調定額に対し53.8%である。

歳出においては、予算現額880,344,153円の処、執行額556,334,831円、予算残額324,009,322円、予算現額に対する執行率は63.1%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成30年9月30日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
1 分担金及び負担金	7,440,000	40,000	1,476,920	△ 1,436,920	19.8	3,692.3
2 使用料及び手数料	105,968,000	56,331,671	42,756,136	13,575,535	40.3	75.9
3 国庫支出金	222,371,000	57,560,000	0	57,560,000	0.0	0.0
5 繰入金	279,349,000	279,349,000	200,000,000	79,349,000	71.5	0.0
6 繰越金	13,855,153	13,855,621	13,855,621	0	100.0	100.0
7 諸収入	61,000	28,640	28,640	0	46.9	0.0
8 市債	251,300,000	72,200,000	0	72,200,000	0.0	0.0
合計	880,344,153	479,364,932	258,117,317	221,247,615	29.3	53.8

#### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	総務費		104,842,000	83,857,182	20,984,818	79.9
	1	総務管理費	104,842,000	83,857,182	20,984,818	79.9
		1 一般管理費	7,670,000	227,194	7,442,806	2.9
		2 維持管理費	97,172,000	83,629,988	13,542,012	86.0
2	事業費		476,706,500	306,175,384	170,531,116	64.2
	1	下水道事業費	476,706,500	306,175,384	170,531,116	64.2
		1 下水道事業費	476,706,500	306,175,384	170,531,116	64.2
3	公債費		248,586,000	120,562,047	128,023,953	48.4
	1	公債費	248,586,000	120,562,047	128,023,953	48.4
		1 元金	205,413,000	99,075,352	106,337,648	48.2
		2 利子	43,173,000	21,486,695	21,686,305	49.7
4	予備費		298,000	0	298,000	0.0
	1	予備費	298,000	0	298,000	0.0
		1 予備費	298,000	0	298,000	0.0
5	災害復旧費		49,911,653	45,740,218	4,171,435	91.6
	1	下水道施設災害復旧費	49,911,653	45,740,218	4,171,435	91.6
		1 下水道施設災害復旧費	49,911,653	45,740,218	4,171,435	91.6
	合計		880,344,153	556,334,831	324,009,322	63.1

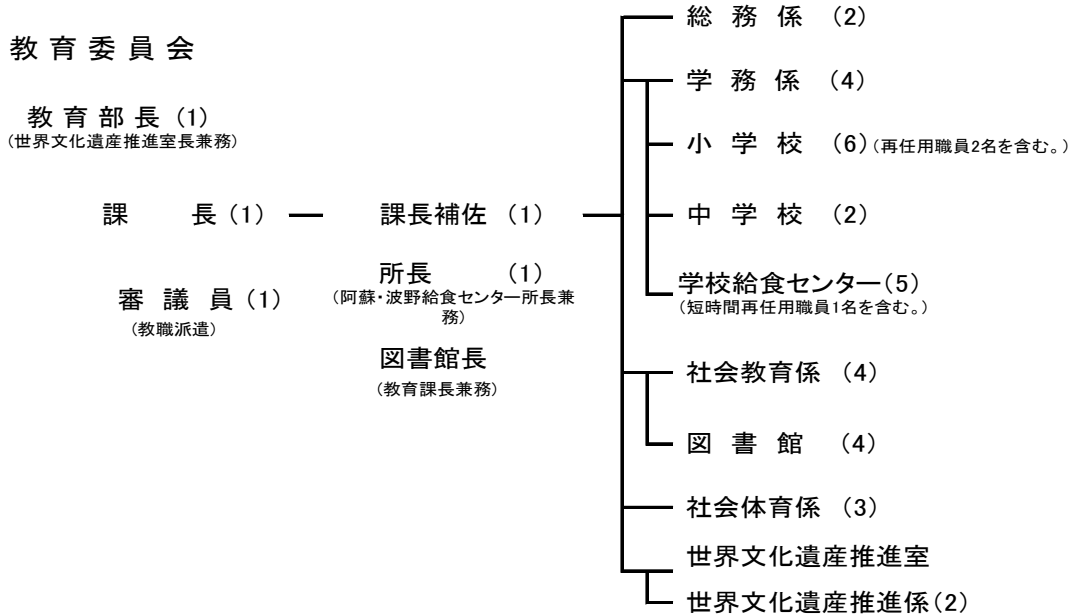
# 【 教 育 部 】

## 教育課

実施日：平成 30 年 11 月 19 日

### 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在）

\*（ ）数字は職員の配置数



### 2 予算執行状況

平成 30 年度教育委員会歳入予算現額 799,469,786 円の処、9 月 30 日現在収入済額 34,157,143 円で収入率は予算現額に対し 4.2%、調定額に対し 89.5%である。

歳出においては、予算現額 1,867,076,750 円の処、執行額 1,345,857,021 円、予算残額 521,219,729 円、予算現額に対する執行率は 72.0%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

#### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
12 分担金及び負担金	5,271,000	5,279,520	4,967,180	312,340	94.2	94.0
13 使用料及び手数料	2,983,000	4,212,101	2,707,188	1,504,913	90.7	64.2
14 国庫支出金	533,817,000	0	0	0	0.0	0.0
15 県支出金	8,453,000	840,000	840,000	0	9.9	100.0
16 財産収入	612,000	594,464	594,464	0	97.1	100.0
19 繰越金	21,578,786	21,578,786	21,578,786	0	100.0	100.0
20 諸収入	5,555,000	5,619,884	3,469,525	2,150,359	62.4	61.7
21 市債	221,200,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	799,469,786	38,124,755	34,157,143	3,967,612	4.2	89.5



## (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5	農林水産業費		268,000	157,612	110,388	58.8
	1	農業費	268,000	157,612	110,388	58.8
		11 農業構造改善センター管理費	268,000	157,612	110,388	58.8
9	教育費		1,105,427,964	667,239,668	438,188,296	60.3
	1	教育総務費	253,573,964	150,512,818	103,061,146	59.3
		1 教育委員会費	3,646,000	1,962,493	1,683,507	53.8
		2 事務局費	249,927,964	148,550,325	101,377,639	59.4
	2	小学校費	201,870,000	95,045,765	106,824,235	47.0
		1 小学校管理費	175,136,000	81,049,509	94,086,491	46.2
		2 小学校教育振興費	26,734,000	13,996,256	12,737,744	52.3
	3	中学校費	107,050,000	57,473,677	49,576,323	53.6
		1 中学校管理費	87,087,000	47,473,014	39,613,986	54.5
		2 中学校教育振興費	19,963,000	10,000,663	9,962,337	50.0
	4	社会教育費	206,195,000	104,555,415	101,639,585	50.7
		1 社会教育総務費	99,139,000	46,572,706	52,566,294	46.9
		2 生涯学習事業費	1,312,000	826,542	485,458	62.9
		3 文化振興費	7,569,000	5,643,315	1,925,685	74.5
		4 人権同和教育費	7,113,000	1,899,318	5,213,682	26.7
		5 公民館費	15,281,000	11,996,188	3,284,812	78.5
		6 図書館費	60,946,000	27,475,477	33,470,523	45.0
		7 世界遺産推進費(郡市)	9,693,000	4,999,869	4,693,131	51.5
		8 世界遺産推進費(阿蘇市)	5,142,000	5,142,000	0	100.0
	5	保健体育費	336,739,000	259,651,993	77,087,007	77.1
		1 体育振興費	10,374,000	7,860,550	2,513,450	75.7
		2 体育施設費	186,162,000	149,883,569	36,278,431	80.5
		3 給食センター費	140,203,000	101,907,874	38,295,126	72.6
10	災害復旧費		761,380,786	678,459,741	82,921,045	89.1
	4	文教施設災害復旧費	761,380,786	678,459,741	82,921,045	89.1
		1 公立学校施設災害復旧費	702,811,786	659,127,765	43,684,021	93.7
		2 社会教育施設災害復旧費	58,569,000	19,331,976	39,237,024	33.0
		合計	1,867,076,750	1,345,857,021	521,219,729	72.0

### 3 事業の概要

主要事業	事業内容及び現況
・幼稚園就園奨励費補助事業	<p>・保護者の経済的負担軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正することにより幼稚園教育の振興を図る。</p> <p>平成27年度からの子ども・子育て支援新制度を受け、平成27年度より幼稚園就園奨励費補助の国庫補助対象は、新制度に移行しない私立幼稚園に通う園児に対して市区町村が行う幼稚園就園奨励事業のみとなるため、事業対象の私立幼稚園から申請があった場合の対応となる。(H29年度実績:56千円、1人)(H28年度実績:46千円、1人) 事業費308千円 国庫補助1/3以内</p>
・阿蘇市奨学金貸付事業	<p>・経済的理由により修学が困難な生徒や学生に対して就学金の貸付を行い、もって社会に貢献し得る人材の育成を図る。(H29年度実績:0円、0人)(H28年度実績:180千円、1人) 事業費1,080千円 市単独</p>
・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助事業	<p>・経済的に困窮している世帯に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。(H29実績:13,292千円、162人) 事業費17,130千円 要保護(国庫補助1/2以内) 準要保護(市単独)</p>
・特別支援教育奨励費補助事業	<p>・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、就学に必要な学用品費等の援助を行い、特別支援教育の充実を図る。(H29実績:1,446千円、48人) 事業費2,043千円 国庫補助1/2以内</p>
・文化及び体育大会九州・全国大会出場助成事業	<p>・学校の部活動において、九州及び全国大会に出場する際にその旅費の一部を助成することで、教育振興の充実を図る。宿泊費、交通費の3分の2を助成する。(H29実績:34千円) 事業費1,986千円 市単独</p>
・外国語指導助手配置事業	<p>・各中学校に外国語指導助手を配置し(ALT)を配置し小学校へも派遣することで中学校における外国語教育、国際理解教育等、小学校における外国語活動等の補助を行う。また、地域における国際理解教育の推進に協力する。 事業費12,656千円 市単独</p>
・各小学校一般工事	<p>・各小学校の危険箇所及び老朽化により支障がある箇所の整備を行い、教育環境及び安全安心の確保を図る。現在、統合等の計画を考慮しつつ、整備を行っている。 H30 予算 工事請負費 12,284千円 市単独</p>
・各中学校一般工事	<p>・各中学校の危険箇所及び老朽化により支障がある箇所の整備を行い、教育環境及び安全安心の確保を図る。 H30 予算 工事請負費 4,961千円 市単独</p>
【社会教育係】 ・成人式の開催	<p>・平成31年成人式を下記のとおり開催予定です。</p> <p>1.期日 平成31年1月13日(日) 2.場所 阿蘇市阿蘇体育館 3.参加人数 約270人(対象者) 事業費505千円 市単独</p>
・社会教育団体への活動補助事業	<p>・子ども会、青少年健全育成市民会議、地域婦人会、PTA連絡協議会などの団体に対して補助しています。 事業費4,132千円 市単独</p>
・生涯学習講座事業	<p>・主催講座(13講座、受講生117名)、自主講座(35講座、受講生約455名程度)を生涯学習講座として実施しています。 事業費1,411千円 市単独</p>
・人権教育講演会事業	<p>・中学校単位で人権講演会を実施しています。事業費300千円 市単独</p>
・公民館関係事業	<p>・阿蘇市公民館の他、小学校校区単位の公民館組織を立ち上げており、一の宮地区(4分館)、阿蘇地区(7分館)、波野地区(1分館)の計12分館。現在、館長、主事を委嘱し各種活動を行っています。 事業費5,245千円 市単独</p>
・放課後子どもプラン事業 (放課後子ども教室)	<p>・放課後や週末に、小学校の余裕教室などを利用して、地域の方々の参加を得て、子供たちと共に学びや文化活動、地域住民との交流を通して、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する目的として、平成19年より実施しています。この事業は、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室事業」が連携・協力する事業です。</p> <p>◎放課後児童健全育成事業 実施校4校 一の宮小、阿蘇小、阿蘇西小、内牧小 ◎放課後子ども教室 実施校6校 一の宮小、阿蘇小、阿蘇西小、内牧小、山田小、波野小 事業費1,762千円 国庫補助2/3</p>

<p>・学校・家庭・地域の連携による活動促進事業</p>	<p>・学校の事業等における学習補助や教員の業務補助などの学校支援、親への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等コーディネーターを配置し、教育支援活動を行います。(文部科学省補助事業)</p> <p>◎ 学校支援ボランティア事業(阿蘇中校区は補助事業) 実施校 阿蘇中校区、一の宮中校区、波野中校区の全小中学校 ※阿蘇中学校区は補助事業</p> <p>◎ 家庭教育支援事業 実施校 阿蘇市内全域</p> <p>◎地域未来塾・・・一の宮中、阿蘇中 事業費 1,790 千円 国庫補助 2/3</p>
<p>・文化財保護事業</p>	<p>・指定文化財の台帳整備、史跡の維持管理、民俗文化財保存団体へ活動支援、文化財サインの整備等を中心に保護活動を実施しています。 事業費 6,803 千円 市単独</p>
<p>【社会体育係】 ・スポーツ推進委員活動事業</p>	<p>本市の生涯スポーツ振興のため、講習会やスポーツ大会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の開催 2 回実施済(年 4 回程度)</li> <li>・市民スポーツ大会(10/7 実施)※阿蘇郡市スポーツ推進委員会が主管として実施</li> <li>・市民駅伝大会(12/2 実施)※阿蘇郡市スポーツ推進委員会が主管として実施</li> <li>・市民スポレクフェア大会※阿蘇郡市スポーツ推進委員会が主管として実施</li> <li>・阿蘇郡市スポーツ推進委員研修会</li> <li>・九州、熊本県スポーツ推進委員研究大会</li> </ul> <p>事業費 1,827 千円 市単独</p>
<p>・全国大会出場激励事業</p>	<p>横断幕作成 平成 30 年度 25 本 事業費 432,000 円 市単独</p>
<p>・生涯スポーツ推進事業</p>	<p>市民を対象にしたスポーツ行事の開催 事業費 2,438 千円 市単独</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会(10/7 実施)</li> <li>・市民駅伝大会(12/2 実施)</li> <li>・市民スポレクフェア大会</li> <li>・体験スポーツ教室</li> <li>・大阿蘇旗少年野球大会</li> <li>・高原杯学童ソフトボール大会</li> <li>・火の山旗スポーツ競技大会</li> </ul> <p>市を代表として参加する大会 事業費 300 千円 市単独</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇郡市町村対抗駅伝出場(阿蘇市体育協会関係事業)</li> <li>・熊本県民体育祭</li> <li>・阿蘇郡市民体育祭</li> </ul>
<p>・市内社会体育施設維持管理事業</p>	<p>維持管理、修繕</p> <p>◎社会体育施設修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇中学校第 2 グラウンド分電盤ボックス修繕 24,300 円</li> <li>・アゼリア 21 屋根修繕 288,600 円</li> <li>・アゼリア 21 給湯ポンプ修繕 289,440 円</li> <li>・坂梨体育館男子トイレスバッド修繕 7,678 円</li> <li>・アゼリア 21 玄関内樋修繕工事 616,333 円</li> <li>・アゼリア 21 公認ブルーろ過装置修繕工事 1,792,800 円</li> <li>・阿蘇体育館改修工事 2,754,000 円</li> <li>・乙姫体育館防災機能拡充工事 27,270,000 円</li> <li>・アゼリア 21 消防用設備修繕工事 5,076,000 円</li> </ul> <p>事業費 38,119,151 円</p>
<p>・社会体育施設維持管理事業</p>	<p>◎社会体育施設維持管理委託 市単独</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・波野体育館清掃管理委託 277 千円</li> <li>・波野体育館浄化槽維持管理委託 307 千円</li> <li>・波野グラウンド維持管理委託 381 千円</li> <li>・貯水池周辺草切業務委託 416 千円</li> <li>・体育施設設備点検整備委託 200 千円</li> <li>・社会体育施設清掃(ワックス掛け)委託 483 千円</li> </ul> <p>◎社会体育施設(鍵管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中通体育館、古城体育館、坂梨体育館、役犬原体育館 尾ヶ石東部体育館、乙姫体育館 60,000×6 360 千円</li> <li>・中通グラウンド、古城グラウンド、坂梨グラウンド 尾ヶ石東部グラウンド、波野グラウンド 60,000 円×5 300 千円</li> </ul> <p>◎小中学校施設(鍵管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館9校 60,000 円×9 540 千円</li> <li>・グラウンドナイター3校 60,000 円×3 180 千円</li> </ul> <p>◎指定管理者による維持管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇体育館 15,801 千円</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村公園あびか 23,070 千円</li> <li>・アゼリア 21(温水プール、交流促進センター) 49,321 千円</li> <li>・一の宮就業改善センター(一の宮体育館、一の宮運動公園) 14,651 千円</li> <li>◎公共予約システム</li> <li>・公共予約システム更新管理委託 500 千円</li> </ul>
・総合型地域スポーツクラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇市総合型地域スポーツクラブ事務局補助 独立採算</li> <li>・運営委員会、理事会の開催事務補助(12 回程度)</li> <li>・会報誌発行業務事務補助(年 4 回程度)</li> <li>・会員受付業務補助</li> <li>・指導者等連絡調整補助</li> <li>・補助金申請事務補助</li> <li>・会員交流会事務補助</li> <li>・HSC ゴルフカップ事務補助</li> </ul>
【一の宮図書館・阿蘇図書館】 図書資料・視聴覚資料などの収集	<p>図書資料や視聴覚資料を収集し、住民の生涯学習の一助とする。また、市の財産として後世に残すべき資料の収集も行う。事業費 7,500 千円(市単独)</p>
図書館業務システム関連(クラウドシステム使用料、TOOL使用料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館業務システム(クラウド方式)により貸出、返却、検索、所蔵管理などの業務を行う。</li> <li>・ホームページをインターネット上に公開し、図書館の情報や図書資料の案内、予約受付等を常時行う。</li> <li>・図書館流通センターのデータベースから書誌データのダウンロードおよび図書の発注を行うための専用回線を使用する。</li> <li>・移動図書館にモバイル回線を使用することで本の貸出、返却、検索、所蔵管理等の業務を行う。事業費 3,820 千円(市単独)</li> </ul>
・ブックスタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第 2 火曜日、市の保健センターで行われる「もうすぐ一歳児検診」の際に保護者と幼児向けに、読書指導を行う。一人一人に絵本 2 冊・読み聞かせ指導、パンフレット・よだれかけ・絵本収納手提げ袋を配布する。事業費 288 千円(市単独)</li> </ul>
・夜間開館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7 月及び 8 月の週 1 日を午後 8 時まで開館し、利用時間を延長する。(阿蘇図書館:毎週水曜日、一の宮図書館:毎週木曜日)事業費 87 千円(市単独)</li> </ul>
・移動図書館車運行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育園・幼稚園及び子育てセンター等に移動図書館車で訪問し、図書の貸出や返却を行う。(全 16カ所)</li> <li>・市内公民館、福祉施設等に移動図書館車で出向き、図書の貸出や返却を行う。(全 17カ所)事業費 60 千円(市単独)</li> </ul>
・読書感想文コンクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の小、中、高校生及び社会人を対象に、読書感想文を募集、審査を行い、優秀な作品について表彰を行う。また感想文集を作成し保存する。事業費 310 千円(市単独)</li> </ul>
・図書館まつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古本リサイクル、子どもの工作、科学あそび、読み聞かせ等 事業費 100 千円(市単独)</li> </ul>
【世界文化遺産推進係】 ・阿蘇の文化的景観保護推進事業(郡市共同事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化的景観の保存管理・整備活用に関する指導・助言</li> <li>・市町村毎の「文化的景観保存計画改定版」作成</li> <li>・住民向けパンフレット及び行政向け説明会資料の作成</li> <li>事業費 3,500 千円(国 50%、県 25%、市 25%)</li> </ul>
・名勝及び天然記念物「米塚及び草千里ヶ浜」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米塚及び草千里ヶ浜保存管理計画策定事業 事業費 1,445 千円(県 50%、市 50%)</li> <li>「米塚及び草千里ヶ浜」保存活用計画策定委員会の運営</li> <li>「米塚及び草千里ヶ浜」保存活用計画の作成</li> <li>「米塚及び草千里ヶ浜」保存活用計画の印刷製本</li> </ul>
・その他構成資産に係る事業	<p>構成資産の保存活用に関する市町村間調整 ※事業費は「その他の事業で」対応</p>
・その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会の運営</li> <li>・各種会議の開催</li> <li>・構成市町村(阿蘇郡市 7 市町村)の重要文化的景観追加申出に係る作業支援</li> <li>・重要文化的景観の保存管理・整備活用に関する指導助言</li> <li>・住民向け周知啓発(協議会ホームページの管理運営)</li> <li>・協議会事務局事務</li> <li>事業費 2,836 千円</li> </ul>

<p>・学校給食事業</p>	<p>学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることを考え、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。</p> <p>上記の目的を実現するために次に掲げる目標を達成されるよう努めなければならない。</p> <p>(学校給食の目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。</li> <li>② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。</li> <li>③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。</li> <li>④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</li> <li>⑤ 食生活が食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。</li> <li>⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。</li> <li>⑦ 食料の生産流通及び消費について正しい理解に導くこと。</li> </ol> <p><b>阿蘇学校給食センター</b></p> <p>◎給食実施校と給食数(教職員を含む。)</p> <p>・小学校(5校)</p> <p>一の宮小学校 497食(児童461人、職員36人)  阿蘇小学校 294食(児童267人、職員27人)  内牧小学校 300食(児童269人、職員31人)  阿蘇西小学校 149食(児童137人、職員12人)  山田小学校 39食(児童27人、職員12人)</p> <p>・中学校(2校)</p> <p>一の宮中学校 250食(生徒223人、職員27人)  阿蘇中学校 397食(生徒364人、職員33人)</p> <p>・給食センター 29食 合計1,955食</p> <p>◎給食年間予定実施回数 195回</p> <p>◎取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士による各学校への食育・栄養指導。</li> <li>・栄養士による献立表の作成</li> <li>・各小学校への配膳表、献立予定表の配布</li> <li>・食材や食に関するお知らせ等の配布。</li> <li>・献立に各地域の伝統料理を取り入れる。</li> <li>・アレルギーの児童生徒への対応(現在、15名の児童生徒へ対応を行っている。(小学校8名、中学校7名))</li> <li>・食に関わる人々の活動によって支えられていることの理解を深めてもらうために、職場体験等の受け入れを行う。</li> </ul> <p><b>波野学校給食センター</b></p> <p>1. 学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ国民の食生活の改善に寄与する目的を基に実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養う。</li> <li>(2)学校生活を豊かにし、明るい社会生活を養う。</li> <li>(3)食生活の合理化、栄養改善、健康の増進を図る。</li> <li>(4)食料の生産、配分及び消費について正しく理解する。</li> </ol> <p>◎給食実施校と給食数(教職員を含む。)</p> <p>波野小学校 58名(教職員を含む。)  波野中学校 45名(教職員を含む。)  波野給食センター 4名  合計 107名</p> <p>◎年間給食実施予定数 小学校190回 中学校185回</p> <p>2. 給食指導の充実と給食の運営管理の徹底</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)食に関する指導の充実</li> <li>(2)おいしくて栄養の取れた食事の推進</li> <li>(3)児童生徒が主体的に選択できる食事の推進(リクエスト給食・季節の行事食等を年数回実施)</li> <li>(4)調理場の運営管理体制の整備と充実、衛生管理の徹底</li> <li>(5)アレルギー食への対応の徹底</li> </ol> <p>※給食センターを小中学校の間に併設し、ランチルームを設けたことで、小中学校生徒・児童の交流できることや、調理場が見えることで、食する者と、調理する者双方から意識の改善がみられるようになった。</p>
----------------	--

#### 4 講評・所感

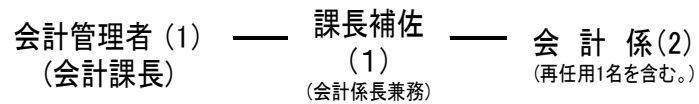
現在、阿蘇西小学校の校舎建築の真只中である。更には平成 31 年 4 月から内牧小へ山田小が合併統合して、又もや歴史ある学校が廃校となる。少子化の波を諸に受ける当該者の心情は計り知れないものであろうが、田園風景等、大自然のロケーションに恵まれて、心の教育までが体现される学舎が死滅していくのか？

最高学府を卒業した高級官僚も書類を改ざんし、忖度なる良い意味(古来日本人は義侠心を尊んだが)でさえも偏屈した意味合いにかえてしまう今の時代は、狂っているとしか表現の仕様がなと思うが如何か。

# 会計課

実施日：平成 30 年 11 月 2 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数



## 2 予算執行状況

平成 30 年度会計課歳出予算現額 6,694,000 円の処、執行額 3,830,009 円、予算残額 2,863,991 円、予算現額に対する執行率は 57.2%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		6,694,000	3,830,009	2,863,991	57.2
	1	総務管理費	6,694,000	3,830,009	2,863,991	57.2
		4 会計管理費	6,694,000	3,830,009	2,863,991	57.2
		合計	6,694,000	3,830,009	2,863,991	57.2

## 3 講評・所感

特になし

# 農業委員会事務局

実施日：平成 30 年 11 月 2 日

## 1 職員の配置 (平成 30 年 4 月 1 日現在) \* ( ) 数字は職員の配置数

### 農業委員会事務局

農業委員会事務局長 (1) — 次 長 (1) — 農地調整係 (2)

## 2 予算執行状況

平成 30 年度農業委員会事務局歳入予算現額 6,368,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 1,033,400 円で収入率は予算現額に対し 16.2%、調定額に対し 98.9%である。

歳出においては、予算現額 45,413,000 円の処、執行額 22,015,043 円、予算残額 23,397,957 円、予算現額に対する執行率は 48.4%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況

(単位：円：%)

項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
13 使用料及び手数料	30,000	30,000	18,600	11,400	62.0	62.0
15 県支出金	4,999,000	0	0	0	0.0	0.0
20 諸収入	1,339,000	1,014,800	1,014,800	0	75.7	100.0
合 計	6,368,000	1,044,800	1,033,400	11,400	16.2	98.9

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
5	農林水産業費		45,413,000	22,015,043	23,397,957	48.4
	1	農業費	45,413,000	22,015,043	23,397,957	48.4
		1 農業委員会費	43,287,000	21,147,300	22,139,700	48.8
		8 農業者年金費	543,000	119,820	423,180	22.0
		9 農地流動化等 推進事業費	1,583,000	747,923	835,077	47.2
	合 計		45,413,000	22,015,043	23,397,957	48.4



### 3 講評・所感

農地法 5 条関係の許可者は県知事である。

地震の被害による倉庫の建替えも公費を利用し、大部分が建築済みである事は喜ばしい。今後の農業経営に最大限活用してもらいたいと存ずる。

処で一方、牛舎堆肥舎等の建築には周辺住民の同意が必要である事は言を待たない。しかし、現実には排水、臭気等を含め見切り発車的な出来事が散見され、物議を醸し出しているが既成事実を含め、今後の成り行きに一抹の不安を覚えるものである。

# 選挙管理委員会事務局

実施日：平成 30 年 11 月 1 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数

選挙管理委員会事務局長 (総務部長兼務) — 事務局次長 (総務課長兼務) — 総務課総務係兼務

## 2 予算の執行状況

平成 30 年度選挙管理委員会事務局歳入予算現額 1,191,000 円の処、9 月 30 日現在収入済額 0 円である。

歳出においては、予算現額 19,840,000 円の処、執行額 505,364 円、予算残額 19,334,636 円、予算現額に対する執行率は 2.5%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (1) 歳入の状況 (単位：円：%)

項目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					予算対比	調定対比
20 諸収入	1,191,000	0	0	0	0.0	0.0
合計	1,191,000	0	0	0	0.0	0.0

### (2) 歳出の状況 (単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		19,840,000	505,364	19,334,636	2.5
	4	選挙費	19,840,000	505,364	19,334,636	2.5
		1 選挙管理委員会費	1,169,000	454,964	714,036	38.9
		2 選挙啓発費	106,000	50,400	55,600	47.5
		4 市議会議員選挙費	17,374,000	0	17,374,000	0.0
		6 土地改良区総代選挙費	1,191,000	0	1,191,000	0.0
		合計	19,840,000	505,364	19,334,636	2.5

## 3 講評・所感

特になし

# 議会事務局

実施日：平成 30 年 11 月 2 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在）

\*（ ）数字は職員の配置数

### 議会事務局

議会事務局長（1） 一 次 長（1） 一 庶務係（1）

## 2 予算執行状況

平成 30 年度議会事務局歳出予算現額 140,519,000 円の処、執行額 82,303,721 円、  
予算残額 58,215,279 円、予算現額に対する執行率は 58.5%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (2) 歳出の状況

(単位:円:%)

	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
1	議会費		140,519,000	82,303,721	58,215,279	58.5
	1	議会費	140,519,000	82,303,721	58,215,279	58.5
		1 議会費	140,519,000	82,303,721	58,215,279	58.5
	合	計	140,519,000	82,303,721	58,215,279	58.5

## 3 講評・所感

特になし

# 監査委員事務局

実施日：平成 30 年 11 月 2 日

## 1 職員の配置（平成 30 年 4 月 1 日現在） \*（ ）数字は職員の配置数

監査委員事務局 — 事務局長 (1)  
(庶務係長兼務) — 書記 (1)

## 2 予算執行状況

平成 30 年度監査事務局歳出予算現額 19,971,000 円の処、執行額 9,199,808 円、予算残額 10,771,192 円、予算現額に対する執行率は 46.0%となっている。

予算現額に占める各費目の内訳は次のとおりである。〔平成 30 年 9 月 30 日現在〕

### (2) 歳出の状況

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
2	総務費		19,971,000	9,199,808	10,771,192	46.0
	6	監査委員費	19,971,000	9,199,808	10,771,192	46.0
		1 監査委員費	19,971,000	9,199,808	10,771,192	46.0
	合	計	19,971,000	9,199,808	10,771,192	46.0

## 3 講評・所感

特になし

## 繰 出 金

### 1 阿蘇市病院事業

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
4	衛生費		284,188,000	284,188,000	0	100.0
	1	保健衛生費	284,188,000	284,188,000	0	100.0
		1 保健衛生総務費	284,188,000	284,188,000	0	100.0
	合	計	284,188,000	284,188,000	0	100.0

### 2 阿蘇市水道事業

(単位：円：%)

款	項	目	予算現額	支出負担行為済額	予算残額	執行率
4	衛生費		48,619,000	0	48,619,000	0.0
	1	保健衛生費	48,619,000	0	48,619,000	0.0
		12 水道費	48,619,000	0	48,619,000	0.0
	合	計	48,619,000	0	48,619,000	0.0